

第七九 國道十五號線(奈良)改良工事

八年度時局匡救
時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八、九兩年度ニ於ケル時局匡救國道改良事業ニシテ八年度總工費三十萬圓、九年度總工費十萬圓ヲ以テ施行セルモノナリ

計畫大要

八年度起業區域ハ奈良市三條町ヨリ奈良縣添上郡治道村大字横田ニ至ル延長四千六百六十米ニシテ九年度區域ハ奈良市大森町ヨリ奈良縣山邊郡二階堂村大字南六條ニ至ル延長四千三百三十六米ナリ

現國道十五號路線ハ奈良坂ヨリ奈良市ニ入り市街中心地ヲ經テ同市京終町ヨリ郡部ニ出デ明治村、帶解村、平和村、治道村ニ至リ府縣道大阪、奈良線ニ依リ工業都市大阪ニ聯絡シ更ニ二階堂村、八木、高田、御所、五條ノ各町ヲ經テ和歌山縣ニ通ズル重要ナル道路ナリ

然ルニ幅員ハ一般ニ狹小且屈曲多ク自動車交通ニ對シテハ特ニ不便甚シク路面亦低クシテ排水路不完全ナル爲メ大雨ノ際ハ田面ヨリノ溢水ニ依リ往々交通ニ支障ヲ來ス現狀ナルヲ以テ之ガ改築ヲ計畫セルモノナリ

路線ノ選定ニ付テハ現國道ニ沿フ時ハ大小ノ屈曲多ク且所々ニ人家連檐セル部落在ルヲ以テ全然新線ヲ選ビ七年度工事終點添上郡明治村大字北之庄ヨリ同郡治道村大字横田ニ至リ府縣道大阪、奈良線ト聯

絡シ尙南下シテ二階堂村大字南六條ニテ現國道ト交叉シ同地内終點ニ達スルモノトス

八年度工事總延長四千六百六十米ノ内五百三十三米ノ市内部分ハ七年度ニ於テ路床施行箇所ニシテ路面鋪裝ヲ爲シ又三百三十二米ハ奈良市西木辻町地内省線櫻井線ヲ横斷スル部分ニテ跨線橋ヲ施行シ殘餘三千七百九十五米ハ有効幅員九米トシ明治村大字北ノ庄地内ヨリ治道村大字横田ニ至ル新中心線ニ沿ヒテ道路改築ヲ爲スモノトス

本計畫執行延長ノ内一千三百六十二米ハ敷地買收ヲ爲スモ九年度ニ於テ工事ヲ施行ス
 縱斷勾配ハ最急五十分ノ一トシ最小屈曲半徑五百米ナリ

本工事ハ全區間殆ド盛土ナルニ附近ニ適當ナル土取場ナキヲ以テ施行ノ都合上先ヅ田ヨリ土砂ヲ買收掘鑿シ其餘ハ溜池ヨリ濁水期ヲ待チテ掘鑿運搬スルモノトス

路面ハ敷砂利ヲ爲シ充分輾壓スルモノトス用惡水路ニハ各々流量ニ應ジ適當ナル鐵筋混凝土圓管渠又ハ鐵筋混凝土床版渠ヲ施行セリ

横斷河川ニハ夫々地藏院川橋徑間七米、菩提山川橋徑間十一米、各有効幅員九米ノ丁型鐵筋混凝土橋ヲ架設スルモノトス尙溜池ヲ横斷セル箇所ニハ護岸、擁壁工事ヲ施行ス

九年度工事ハ當初計畫總延長四千十米、内鋪裝部分二千九百七十米、改築部分一千四十米ナリシモ本國道ノ利用交通量ハ近時頓ニ激増ノ趨勢ニ在リ且地方民ニ於テ新國道ヲ速カニ二階堂村地内、丹波市都市計畫路線(府縣道丹波市、龍田線)ニ取付ケ以テ全市街トノ聯絡促進方熱望セルヲ以テ可及的工事ノ前進ヲ圖リ少クトモ該路線迄ハ一日モ早ク延長スルノ必要アリ旁々大阪電氣軌道天理線横斷ノ爲メ立體交叉工事ヲモ考慮シ當初計畫ヲ變更シ鋪裝部分ヲ二千四百四十米ニ短縮シ改築部分ヲ一千六百九十六米ニ延

長セリ

鋪裝部分二千四百四十米(奈良跨線橋下踏切板石敷延長三米及岩井橋六米ハ含マズ)ハ七年度工事施行箇所ニ施行スルモノニシテ八年度鋪裝終點奈良市大森町ヨリ添上郡大安寺村地内府縣道奈良大阪線分岐點ニ至ル區間ハ高速道(幅員六米)及低速道(幅員二米乃至一米五)ノ區別ヲ爲シ是ヨリ以南明治村地内ニ至ル區間ハ高速道ノミトシ幅員ハ六米トス

改築部分一千六百九十六米(橋梁延長八米ヲ含ム)ハ有効幅員九米トシ八年度工事終點ヨリ新中心線ニ沿ヒテ添上郡治道村ヲ經テ山邊郡二階堂村地内ニ至ル區間ノ改築ヲ爲スモノナリ
本改築工事執行延長ノ内一千三百六十二米ハ八年度ニ於テ既ニ敷地買收済ナリ
縱斷勾配ハ最急五十分ノ一トシ最小屈曲半徑一千米トス

本改築工事ハ全區間殆ド盛土ナルモ前年度ト同ジク附近ニ適當ナル土取場ナキヲ以テ灌溉用溜池ノ掘水期ヲ待チ掘鑿運搬スルモノトス

路面ハ敷砂利ヲ爲シ充分輾壓ノ上仕上グルモノトス

横斷河川高瀬川ニハ徑間八米、有効幅員九米ノ丁型鐵筋混凝土橋ヲ架設シ灌溉排水路ニハ夫々其大小ニ應ジ適當ノ床版渠或ハ圓管渠ヲ施行ス

施工狀況

八年度繰越工事タル路床工事、路面工事及跨線橋工事並支道取付工事ハ十年三月末ヲ以テ竣功セリ

九年度工事ハ治道工場ニ於テ八月一日ヨリ第一鋪裝工事ニ着手ス本工事ハ七年度工事ニテ路床ヲ構築

セシ前記區間ニ路面鋪裝ヲ爲スモノニシテ高速道ハ混凝土鋪裝トシ低速道ハ簡易アスファルト鋪裝ニシテ高速道ハ五十分ノ一拋物線形、低速道ハ四十分ノ一直線勾配ニ仕上ゲシモノナリ

改築部分ハ先ツ溝工々事ヲ起シ用排水路ニ支障ナカラシメ盛土ヲ爲ス土砂ハ總テ人力掘鑿ヲ行ヒ之ガ運搬ハ人力或ハ機關車ニ依リ各種構造物ノ完了ニ從ヒ逐次路床ヲ形成ス高瀬川橋ハ橋臺ヲ混凝土(配合一、三、六)構造、橋體ハ鐵筋混凝土丁型單桁橋トシ橋面ハ混凝土(配合一、二、四)鋪裝ト爲ス尙橋臺上下流ニハ袖石垣ヲ施行セリ

路面工事、高瀬川橋工事及追加路床工事、追加溝工々事ハ十年年度ニ繰越施行ノ事トナレリ工事竣功表ハ左ノ如シ

昭和八年度起業

費目	八年度迄竣功高		九年度迄竣功高		合計		竣功歩合
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本路路床	五九、三、九二 立方米	四九、八、〇五 円	—	二、六、一〇 円	五九、三、九二 立方米	五二、四、一五 円	一〇〇
梁面	—	—	—	—	—	—	—
渠壁	—	—	—	—	—	—	—
工事費	—	—	—	—	—	—	—
地費	—	—	—	—	—	—	—
器械	—	—	—	—	—	—	—
費用	—	—	—	—	—	—	—
器用	—	—	—	—	—	—	—
雜費	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—

第八〇 國道^{十五}十六號線(和歌山)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事中十五號線分ハ那賀郡名手町大字穴伏ヨリ伊都郡笠田村大字萩原ニ至ル延長二千八百十二米九六ヲ産業開發事業トシテ工費十萬圓ヲ以テ又十六號線分ハ海草郡野崎村ヨリ和歌山市ヲ聯結スル紀ノ川架橋工事ニシテ工費十八萬七千圓ヲ以テ時局匡救事業トシテ施行シタルガ前年度ニ於テ竣功セザリシガ故ニ十六號線工事費ヨリ十五號線へ二萬四千圓ヲ流用シ施行スルモノトス

計畫大要

一、十五號線

昭和八年度施行箇所ハ那賀郡名手町大字穴伏ヲ起點トシ伊都郡笠田町大字萩原ニ至ル延長二千八百十二米九六ニシテ附近地勢ヲ見ルニ名手町ヲ過グル箇所ヨリ南北ノ山麓迫リテ平地ヲ狹メ笠田町高田部落附近ニ至リテハ妹背山ノ高丘突出シ紀ノ川狹窄部ニ當リ鐵道用水路及道路ハ狹隘ナル猶額大ノ所々ニ並行シ道路ノ幅員僅ニ三米ヲ出デズ最急勾配十分ノ一、曲線部ハ直角ニ折レ一步足ヲ誤ランカ十數米ノ懸崖ノ裾ハ紀ノ川ノ深淵凄藍ノ色ヲ湛ヘテ澱ミ事故ノ枚擧ニ暇ナキ險路アリ此處ヲ通過シ笠田町ニ至ル間ハ漸ク山展ケテ比較的平地ナリト雖モ縣道トシテ改修セラレタルモノナク牛馬車ノ待避スラ困難ナル状態ニシテ高野口、橋本等ノ郷邑ト聯絡スルニハ四十八瀬川ニ架橋シ前記妹背ノ斷崖ヲ切開キ笠

田町ノ南端ニ出ルヲ最モ適切ナル計畫トシテ本線ヲ決定セルモノナリ

二、十六號線

昭和六年度失業救濟事業トシテ竣功セル國道ト聯絡シテ和歌山市ニ入ル北島橋ハ大正八年架設セル有効幅員三米九ノ木橋ニシテ其腐朽ハ最モ甚敷ク年ト共ニ激増スル交通量ニ對シ架換ノ必要ハ目下ノ急務ノミナラズ現橋ノ取合道路ハ兩詰ニ於テ急曲線ヲ有シ交通ノ安全上危惧ニ堪ヘザルモノアリ殊ニ本橋ハ大阪市ト結ブ和歌山市唯一ノ玄關ニシテ其使命重大ナルガ爲メ六年度ニ於テ前記改良工事ヲ完了セル國道ト和歌山市都市計畫幹線ヲ直線ニ結ブ中心線ヲ決定シ下部工事及取付道路ヲ起工セルモノナリ

施工狀況

一、十五號線

(イ)路床工事 路線ハ狹窄部ノ切取及田畑ヲ通過セルモノニシテ其大部分ハ盛土ヲ爲ス切土ハ盛土ニ充用シ不足土ハ紀ノ川積ヨリ六噸ガソリン機關車及人力ヲ以テ運搬シ路床ヲ築造セリ

法勾配ハ一割五分筋芝張トシ法面ハ玉石積トス狹窄部ハ鐵道用水路舊道路等並行シ間隙ノ餘地ナク止ムヲ得ズ懸崖ヲ掘鑿セル爲メ之ガ擴築ハ相當ノ難工事ニテ八割ヲ完成シ殘部ハ九年度ニ繰越シ竣功セルモノナリ

(ロ)擁壁工事 路床工事進捗ニ伴ヒ切取及盛土部分ノ必要箇所ニ築造セルモノニシテ狹窄部ノ切取箇所ハ工費節約ノ爲メ玉石練積擁壁ヲ施シ其他ノ部分ハ玉石混凝土ヲ以テ道路ノ保全ヲ期シ大部分ヲ九年

度ニ繰越シ竣功セリ

(ハ) 路面工事 全幅員八米五中約七米ニ砂利厚三種ヲ敷均シ六噸ローラーヲ以テ輾壓シ更ニ厚三種ノ砂利ヲ撒布ノ上ローラーニテ再ビ輾壓九年度ニ繰越シ竣功セリ

(ニ) 管渠工事 用惡水路ノ新設道路ヲ横斷スルモノニ對シ路床敷ニ陶管及混凝土管ヲ布設セリ

本年度施行箇所五十三箇所ノ内二十二箇所ハ九年度ニ繰越シ竣功セリ先ヅ敷床ヲ木蛸ヲ以テ充分搗固メ混凝土基礎ヲ施シ管ヲ並べ目筋モルタルヲ以テ漏水ノ憂ナカラシメタリ尙笠田町大字高田地内ニ於ケル排水路ニ鐵筋混凝土橋ヲ架設ノ計畫ヲ廢シ内徑九十糎ノヒューム管ヲ布設シテ完了セリ

(ホ) 溝橋工事 排水路ニ架設セルモノニシテ鐵筋混凝土床版トシ床版上面ハ混凝土鋪裝ヲ施シ橋臺ハ混凝土杭打基礎トセリ

兩裾ハ玉石積ヲ以テ九年度ニ繰越シ竣功ス

(ヘ) 側溝工事 側溝ハ玉石練積トシ必要箇所ニ適宜之ヲ施行セリ

(ト) 雜工事(枝道取付及水路付替) 村道及小作道ニ盛土ヲ爲シ國道ニ取付ケ又用惡水路ノ付替ヲ爲セリ八年度ニ於テ二箇所九年度ニ七箇所ノ枝道及四箇所ノ水路付替ヲ施シ完了セリ

(チ) 橋梁工事 文覺橋ハT型鐵筋混凝土ニシテ徑間六米二連有効幅員七米五トシ床版上ハ混凝土鋪裝ヲ施シ橋臺及橋脚ハ混凝土ヲ以テセリ基礎ハ杭打トシ橋臺兩側ハ玉石ノ袖石垣ヲ築造シ九年度ニ繰越シ竣功シ四十八瀬川橋ハ鐵筋混凝土三徑間連續T型桁二連單桁一連ヲ架設シ全長八十二米二、有効幅員七米五トス橋面ハ混凝土鋪裝ヲ爲シ橋臺及橋脚ハ混凝土ニテ杭打基礎ヲ採用橋臺兩側ハ雜割石ノ袖石垣ヲ築造シ九年度ニ繰越セリ又衣谷川橋ハ本橋ハT型桁鐵筋混凝土橋一徑間ニシテ八十七度ノ斜角ヲ爲

シ床版上ニ覆土ヲ爲セリ橋臺ハ混凝土ニテ背部ニ少量ノ鐵筋ヲ插入シ兩側ハ玉石積袖石垣ヲ築造セリ
本橋ハ八年度内ニ於テ完了セルモノナリ

一、十六號線

(イ) 路床工事 北島橋取付道路工事ハ六年度完了セル國道ニ聯結シ右岸北島橋ニ取付ケルモノニシテ法
面ハ一割五分ノ筋芝張トシ必要箇所ニ混凝土側溝ヲ設ケ路面ハ有効幅員十一米ノ中十米ニ砂利厚五糎
ヲ敷均シ九年度ニ繰越シテ完了セリ

(ロ) 溝工々事 北島橋取付道路施行ニ伴ヒ横斷セル惡水路ニ新設セルモノニシテ函形鐵筋混凝土トシ道
路中心ト六十四度ノ斜角ヲ爲シ上部ハ高四米五ノ盛土ヲ爲ス基礎工ハ杭打基礎トシ渠面兩端ニハ一本
胴木上ニ雜割石ノ袖石垣ヲ施行シ八年度ニ於テ完了セルモノナリ

(ハ) 橋梁工事 北島橋下部工事ノ本年度ハ下部工事ヲ起工セルモノニシテ橋脚十六基ノ内十基ハ床掘後
中徑二十七糎、長九米ノ松丸太九十本ヲバイルハムマー及錘重ヲ以テ打込メル基礎上ニ鐵筋混凝土ヲ以
テ八年度内ニ六基ヲ竣功シ殘部ハ九年度ニ繰越シ竣功セリ

次ニ六基ハ河中ニ築島ヲ設ケ外徑五米、内徑三米六ノ中空圓形鐵筋混凝土井筒ヲ一基當リ二本宛（合計十
二本）ヲ九年度ニ繰越シ竣功セリ橋臺二基ハ床掘後中徑二十四糎、長六米ノ杭打基礎トシ鐵筋混凝土ヲ以
テセリ兩袖護岸ハ雜割石積トシ何レモ九年度ニ繰越シ竣功セルモノナリ本工事竣功表左ク如シ但シ〔○〕
ハ無代價品評價額ヲ示ス

十五號線

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本路	立方米 八、八〇〇	三、三三三	立方米 一〇、七〇〇	六、六六六	立方米 一九、五〇〇	一〇、〇〇〇	一・〇〇
擁路	平方米 五、九〇〇	四、四四四	平方米 二、〇〇〇	一、一〇〇	平方米 七、九〇〇	一、〇〇〇	一・〇〇
溝	米 四、〇〇〇	〇	米 三、〇〇〇	〇	米 七、〇〇〇	〇	一・〇〇
側溝	米 三、〇〇〇	〇	米 二、〇〇〇	〇	米 五、〇〇〇	〇	一・〇〇
橋	箇所 一	〇	箇所 二	〇	箇所 三	〇	一・〇〇
雜費	段 二	〇	段 一	〇	段 三	〇	一・〇〇
工費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
用費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
器具	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
機械	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
地	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
總計	立方米 一八、七〇〇	八、七七七	立方米 二一、四〇〇	一三、四四四	立方米 三九、一〇〇	一三、二二二	一・〇〇

十六號線

費目	前年度迄竣工高		本年度竣工高		合計		歩功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
本路	立方米 六、九〇〇	一、一〇〇	立方米 一、〇〇〇	〇	立方米 七、九〇〇	一、一〇〇	一・〇〇
擁路	平方米 〇	〇	平方米 〇	〇	平方米 〇	〇	一・〇〇
溝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
側溝	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
橋	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
工費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
用費	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
器具	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
機械	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
地	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一・〇〇
總計	立方米 六、九〇〇	一、一〇〇	立方米 一、〇〇〇	〇	立方米 七、九〇〇	一、一〇〇	一・〇〇

費目	事 費 用 器 具					總計
	橋	溝	梁	地	機	
前年度迄竣工高	數量	二六米	二二五段	一箇所		
	金額	五、一七六円	二、七九八	九、二二二	一、七三八	一、一、〇四三
本年度竣工高	數量	竣功	一箇所	一箇所		
	金額	二、九八	四、二九二	四、一四一	一、四八一	一、〇、四六〇
合 計	數量	二六米	二二五段	二箇所		
	金額	五、一七六円	二、七九八	一三、四六三	一、九二九	一、一、〇四三
歩 合		一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇	一・〇〇

第八一 國道^{十五}十六號線(和歌山)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ十五號線ニ在テハ和歌山縣伊都郡笠田町大字萩原、同町大字東間ヲ總工費五萬圓ヲ以テ施行スルモノニシテ十六號線ニ在テハ昭和六年度失業救濟事業トシテ施工竣功シタル路線ト同八年度ニ於テ改良工事ヲ施行シタル路線トヲ直線ニ聯結セル要路タル和歌山市ニ入ル北島橋ノ架橋工事ヲ總工費二十萬圓ヲ以テ施行スルモノナリ

計畫大要

一、十五號線

十五號國道本年度施工箇所ハ和歌山縣伊都郡笠田町大字萩原ヲ起點トシ伊都郡笠田町大字東ニ至ル延長一千百四十七米一〇ニシテ附近地勢ハ妹背部落ヲ經テ漸ク山開ケ笠田町間ハ比較的平地ヲ通過スルト雖モ縣道トシテ改修セラレタル所ナク古來其儘ニ小修理ヲ加ヘ今日ニ及ブモノニシテ車馬ノ通行頗ル危険ナルノミナラズ世ヲ舉ゲテ快速ヲ競フ現在自動車ノ運用ハ殆ド不可能ナル状態ナリキ而シテ縣道配置ヲ見ルニ紀ノ川ヲ隔テテ左岸ニ市場、九度山線アリ南北ニ走ル路線トシテ名手町大字穴伏ヲ起點トシ四ヶ郷村ヲ經テ堺市ニ通ズル線及笠田町ヲ起點トセル西高野街道アリ又名手町ト對岸麻生津村ハ爾來渡船ニテ聯絡シ年毎ニ増加スル柑橘類、農林產物ノ出荷ニハ甚敷不便ヲ感ゼシモ今回麻生

津橋開通ノ爲メ九年度國道工事竣功ト相俟テ紀ノ川兩岸附近ノ物資ハ是等南北ニ通ズル路線ニ依リテ幹線國道ニ集散セラレ愈々頻繁ノ情勢ニ在リ

以上ノ諸點ヲ考慮シ笠田町以東、妙寺、高野口、橋本町等ヲ聯絡スルニハ八年度工事ニ引續キ笠田町南部ニ出ルヲ最モ適切ナル計畫トシテ本線ヲ決定セルモノナリ

二、十六號線

昭和六年度失業救濟事業トシテ和歌山縣海草郡野崎村大字北島ヲ起點トシ大阪府ニ至ル國道竣功セルモ之ト聯絡シテ和歌山市ニ入ル唯一ノ玄關タル北島橋ハ大正八年度架設セル有効幅員三米九ノ木造橋ニシテ其腐朽磨損ハ最モ甚敷ク現在重量三百貫以上ノ通行ヲ禁止シ間斷ナク修理ヲ施シツツアルモ年ヲ追テ激増スル交通ニハ抗シ得ズ破壊サルルハ最早時間ノ問題ニシテ加フルニ橋ノ兩詰ハ直角ニ折レ交通保安上危惧ニ堪エザルモノアリ

爲メニ昭和八年度ニ於テ和歌山市都市計畫線ト前記改良工事完了セル國道ヲ直線ニ結び計畫中心線ヲ決定シ新設北島橋架設ノ工ヲ起シ下部工事及取付道路工事ニ着手セルガ本年度ニ於テハ之ガ上部工事トシテ兩岸洪水敷部ニゲルバー式鋼版橋ヲ架設シ床板及高欄ノ一部ヲ完成セントスルモノナリ

施工狀況

一、十五號線

(イ) 路床工事 本年度路床工事ノ大部分ハ盛土ニシテ切土ハ盛土ニ充用シ不足土約四萬立方米ヲ紀ノ川右岸寄洲ヨリ人力及六噸ガソリン機關車ヲ以テ運搬路床ヲ築造セリ

然ルニ盛土直高四米内外ニ達スルガ爲メ沈下ノ程度甚敷ク相當餘盛ノ必要アルノミナラズ九月二十一日未曾有ノ風水害ニ遭遇シ盛土ノ一部流失セルガ爲メ設計變更増額ノ必要ヲ生ジ約四千立方米ヲ追加補足セリ而シテ勾配ハ一割五分筋芝張トシ法止ハ玉石積ヲ以テ竣功セリ

(ロ)擁壁工事 路床ノ進捗ニ伴ヒ切取又ハ盛土部分ノ必要箇所ニ築造セルモノニシテ玉石練積ヲ以テ道路ノ保全ヲ期セリ

(ハ)路面工事 有効幅員八米五内約七米五ニ砂利三糶ヲ敷均シ六噸ローラーニテ輾壓後更ニ砂利三糶ヲ加ヘ之ヲ均シツツローラーニテ輾壓竣功セリ

(二)管渠工事 用悪水路ヲ横斷セントスルモノニ對シ最大六十糶、最小二十三糶ノ陶管又ハ混凝土管ヲ路床敷ニ布設セリ最初充分敷床ヲ搗固メ混凝土基礎及敷砂利ヲ施シ管ヲ敷並べ目筋モルタルヲ以テ漏水ノ憂ナカラシメタリ

(ホ)溝橋工事 排水路ニ架設セルモノニシテ鐵筋混凝土床版橋トシ床版上約二米ノ覆土ヲ施セリ橋臺ハ混凝土ニテ杭打基礎トシ兩袖ハ玉石積ヲ以テ竣功セリ

(ヘ)側溝工事 側溝ハ玉石練積又ハ混凝土ヲ以テシ必要ノ箇所ニ適宜施行セリ

(ト)雜工事 用悪水路ノ付替及私道町村道ニ盛土ヲ爲シ國道ニ取付ケルモノニシテ枝道十七箇所、水路付替六箇所ヲ竣功セリ

(チ)橋梁工事 河川又ハ水路等ニT型桁鐵筋混凝土橋二橋ヲ架設ス何レモ橋臺ハ混凝土ニテ杭打基礎トシ兩側ニハ雜割石ノ袖石垣ヲ築造シ床版上ニ覆土ヲ爲セリ

一、十六號線

(イ)堤防取合及高水敷復舊工事 紀ノ川堤外地ヨリ土砂ヲ運搬シ兩岸堤防ト新設道路ノ取合及高水敷ノ整理復舊ヲ爲スモノニシテ一部十年年度ニ繰越セリ

(ロ)橋梁工事 新設北島橋ハ橋ヲ二部ニ分チ中央低水路ハ徑間六十米五ノワールン式鋼構橋五連ヲ兩岸高水敷部ハゲルバー式鋼鈹橋ヲ架スルモノナリ

而シテ本年度ハゲルバー式鋼鈹桁二十七米ヲ右岸四徑間、左岸六徑間、兩端橋臺ニ接スル部分ハ二十米五各一徑間ヲ架設シ床鈹及高欄ノ一部ヲ完成セントスルモノナルモ殆ド大部分ヲ十年年度ニ繰越セリ是專ラ昭和九年九月ノ風水害ノ爲メ鐵材ノ納入ノ著シク延期サレタルニ因ル今工事竣功高ヲ表示セバ左ノ如シ但シ「〇」ハ無代價品評價額ヲ示ス

十五號線

本工事費用	費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功歩合
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
路擁橋溝側雜 地	床壁面梁橋溝工費							
	立方米		三九八八三		三九八八三		三九八八三	1.00
	平方米		八一四		八一四		八一四	1.00
	箇所		二		二		二	1.00
	米		一〇		一〇		一〇	1.00
	〇		〇		〇		〇	1.00
	段		一六		一六		一六	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230		10,230	1.00
			1,231		1,231		1,231	1.00
			10		10		10	1.00
			3,231		3,231		3,231	1.00
			1,132		1,132		1,132	1.00
			11,111		11,111		11,111	1.00
			10,230		10,230			

第八二 國道十六號線(大阪)改良工事

八年度時局匡救

緒言

大阪市ト和歌山市ヲ聯絡スル國道十六號線ハ古來ヨリ紀州街道ト稱シ大阪市ヲ南下スレバ堺市濱寺町、高石町、大津町、春木町、岸和田市等ノ全國ニ有數ナル機業地ヲ經テ和歌山市ニ至ル往時ヨリ今日ニ至ル重要幹線ナルニ拘ラズ其幅員狹隘(五米内外所トシテハ四米以下ノ所モ在リ)ニシテ且曲折多ク交通ノ自由ヲ缺キ近代頓ニ發達セル高速度交通機關ノ經濟的運用ニ適應セザル現狀ニアルヲ以テ之ガ改良ノ急務ナルヲ認メ昭和六年度ニ於テ始メテ失業救濟事業トシテ工費百七十一萬四千圓ノ處減額二十四萬五千圓此工費百四十六萬九千圓(竣功精算額百四十五萬八千九百九十九圓三十二錢九厘)ヲ以テ堺市海岸通一丁ヨリ堺市郡界間ヲ改良シ昭和七年度ハ失業救濟事業トシ工費六十九萬八千五百圓、竣功額六十七萬一千百四十六圓三十六錢七厘ヲ以テ六年度終點ヨリ大阪府泉北郡濱寺町大字船尾間ノ改良ヲ爲シ同年度ニ於テ産業開發事業トシテ七十二萬五千圓ヲ以テ前工事ニ續テ同町船尾、同郡高石町羽衣間ヲ改良ニ着手セリ然ルニ堺市都市計畫路線、濱寺公園船尾線ヨリ濱寺公園入口間ハ施行命令遲延ノ爲メ昭和八年度ニ繰越シ昭和八年十一月六日其施行命令ニ接シ極力工ヲ急ギ八年度末ニ於テ竣功額七十萬三千九十二圓七十二錢九厘ヲ以テ竣功ヲ見タリ昭和八年度ニ於テハ時局匡救事業トシテ施行延長四千八百七十米、工費百三十一萬圓ヲ以テ高石町羽衣ヨリ大津町下條間ノ改良ヲ爲セシガ工事ノ進捗ニ從ヒ工事費ニ剩餘ヲ生ジタルヲ以テ計畫ヲ變更シ大津町下條地先ニ於テ百六十米ヲ追加承認ヲ得テ用地買收物件移轉

等ヲ進メタルモ此區間ハ人家櫛比シ工場數多アリテ意外ノ困難ヲ來シ三十萬二千六百七十五圓餘ノ工費ヲ昭和九年度ニ繰越スノ止ムナキニ至リ昭和九年度末ニ至リテ延長五千三十米、工費百六十九萬八千七百五圓八十四錢四厘、外ニ昭和九年九月二十一日ノ災害ニ依リ二千四百四十七圓八十七錢六厘ノ亡失毀損ヲ生ジタルヲ以テ百三十萬八百五十三圓六十八錢七厘ヲ以テ竣功セリ

計畫大要

本工事ハ昭和八年度殘工事ヲ受ケテ本年度ニ施行竣功セシモノニシテ其計畫ノ大要ハ次ノ如シ
 工事施行延長四千八百七十米、道路四千八百三十四米五、橋梁三十五米五、道路幅員十六米トシ各側二米五ノ歩道ヲ設ケ車道ハ十一米トシ基礎混凝土上層アスファルトコンクリート鋪裝トシ歩道ハ場所打混凝土鋪裝トス而シテ横斷勾配ハ歩道ハ五十分ノ一直線勾配、車道ハ五十分ノ一双曲線勾配トス
 路面ノ排水ハ街渠集水孔ニ依リ縱斷的ニ布設セル排水管ニ導キ最寄ノ水路ニ放流ス
 縱斷勾配ハ最急百五十分ノ一ニシテ場所ニ依リ水平トセル部分モ在リ而シテ勾配ノ變化スル所ニハ適當ナル緩和曲線ヲ挿入セリ路線ノ屈曲半徑ハ之ヲ凡テ六百米トセリ
 橋梁ハ蘆田川橋、王子川橋ノ二橋ニシテ前者ハ各九米五ヲ有スル二徑間ノ鐵筋混凝土T型桁橋有効幅員十六米、後者ハ徑間十三米ヲ有スル鐵筋混凝土T型桁橋ニシテ有効幅員十六米ナリ
 又地下埋設物トシテハ遞信省電話線ヲ埋設スル計畫ナリ
 總テ幹線ハ車道ニ、支線ハ歩道ニ埋設スル事トシ當所ノ監督ノ下ニ路面鋪裝工事前ニ出願者ヲシテ之ガ施工ヲ爲サシム

施工狀況

昭和八年度時局匡救事業繰越ニ係ル三十萬二千六百七十五圓餘ノ工費ヲ以テ本年度當初ヨリ施工ス
本年度本工費ハ第十區、第十一區、第十二區ノ三區間ニ分タレアリテ濱寺、大津ノ二工場ニ於テ分擔施工ス
第十區、第十一區ハ前年度ニ於テ其大半ノ竣功ヲ見タレドモ第十二區ハ用地買收物件移轉ノ關係上全部
ヲ本年度ニ繰越シ昭和九年十月二十一日ニ至リテ始メテ排水管工事ニ着手スルヲ得タリ

排水管ハ混凝土基礎ヲ有スル鐵筋混凝土管ヲ兩側街渠下ニ埋設シ街渠ノ水ヲ集水柵ニ導キ前記排水管
ニ依リ最寄りノ水路ニ放流ス而シテ管勾配ハ三百分ノ一ヲ標準トシテ場所ニ依リ適當ノ勾配ヲ付シタ
リ集水孔ハ路面ノ縱斷勾配附近地ノ地形ヲ考慮シテ相當ノ距離ヲ定メ又排水管徑變移箇所及勾配變更
點等ニハ人孔ヲ設ケテ接續セリ

路床工ハ腐蝕土、泥土等惡質ノ土砂ハ全部排除シ盛土ヲ爲ス盛土ハ厚五十糎ノ各層ニ撒出シ各層ヲ充分
輾壓ヲ爲シ次層ヲ撒出ス此十二區間ニ在リテハ地下水高ク爲ニ路盤緊結セズ故ニ約一米以上ノ深サニ
盲溝ヲ作り礫ヲ充タシ此處ニ集水シテ最寄りノ自然水路ニ排水シ十噸輾壓機ノ轍跡ノ無キニ至ル迄輾
壓ヲ行ヒ規定ノ橫斷定規ニ仕上ゲ路床ノ構築ヲ終ル

路面鋪裝ハ大別シテ車道鋪裝、歩道鋪裝、街渠各種境界石ト爲シ車道鋪裝ハ一、三、六ノ配合ナル厚十五糎ノ
基礎混凝土ヲ有スル上層アスファルト混凝土厚五糎ノ鋪裝ニシテ基礎混凝土ノ施工ハ主トシテ十四才
練石油發動機付混凝土混合機ヲ使用セリ材料混合ニ際シテハ配合及使用水量ニ注意シ製產品ニ對シテ
ハ數バツチ毎ニ「スランプレスト」ヲ行ヒ品質ノ一様ヲ期シ混凝土鋪設輾壓ニハ三噸輾壓機ヲ使用シ輾壓

ヲ爲セリ鋪設後濕漚又ハ厚五糎以上ノ濕砂ヲ以テ一週間以上養生ヲ爲シ通ジテ二週間以上ノ時日ヲ經過シテ混凝土表面ヲ清淨シ直營施工ニ依リ上層アスファルトコンクリートヲ施工ス、アスファルトコンクリートノ材料ハ嚴密ナル検査ノ結果購入ヲ爲シ其配合ニ當リテハアスファルトノ針度、延性、軟化點等必要ナル性質ヲ調査シ之ニ對スル骨材ノ細粗ニ依リ量ヲ定メ其混合比ヲ作り混合ス而シテ加熱溫度鋪設輾壓等細心ノ注意ヲ以テ施工シ每一千平方米ニ對シ一個ノ試驗片ヲ鋪設現場ヨリ採取シ試驗ヲ行ヒ萬遺憾ナキヲ期シタリ

歩道鋪裝ハ眞土ヲ敷キ充分搗キ固メタル上ニ厚七糎配合一、二、五、五ノ場所打混凝土ブロックヲ施シ木蝟ヲ以テ充分搗固メヲ爲シ粗粒骨材ノ表面ニ露出スルモノナキニ至ル迄入念ニ鍍仕上ゲヲ爲ス歩道混凝土ブロック一個ノ大サハ二米一六ニシテ左右前後ニ一糎伸縮目ヲ作り表面ハ七十糎方形ニ九個ニ分割シ幅一糎、深五糎ノV型擬目地ヲ以テブロック型ニ仕上ゲタリ

街渠工ハ幅六十糎、軀體ハ配合一、三、六ノ混凝土造リトシ表面ハ鍍仕上ニテ約十米毎ニ伸縮目地ヲ設ケタリ歩道側及車道側縁石ハ共ニ花崗石ヲ使用ス

橋梁工トシテハ後記ノ二橋ニシテ蘆田川橋ハ計畫ニ於テ各九米五ヲ有スル二徑間ノ鐵筋混凝土丁型橋ナリシモ實施ニ當リテ兩岸ノ形狀及道路取付ノ關係上各二徑間ヲ八米四八ニ變更シタリ施工ニ當リテハ河川ノ流水ニ支障ヲ來サザル様特ニ留意シテ鐵矢板ヲ以テ施工箇所ヲ圍ミ基礎掘方、基礎杭打ヲ爲シ橋脚、橋臺ヲ築キ橋體ヲ架セリ蘆田川橋ハ全部直營ニテ施工セシガ王子川橋ハ橋桁（鋼板）及附屬鋼材ノ製作並架設ハ三菱造船株式會社ニ請負ハシタリ

暗渠工トシテハ前年度ニ於テ其大部分ヲ竣功セシガ第三十四號暗渠ハ前述ノ如キ用地買收ノ關係上本

年ニ施工シタリ
 次ニ使用労働者延人員ハ直營人夫及請負人夫合シテ四萬一千三百二十二人ナリ今工事竣功表ヲ掲グレ
 バ左ノ如シ但シ「x」ハ別途設計ニ依ル生産品及採取品使用價額「▲」ハ提供品使用價額「○」ハ無代價品使用見
 積價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
路床	三〇、八四六・七五 立方米	三六、七三〇	七、〇〇〇 立方米	一、〇〇六・四	三〇、一〇七・七五 立方米	三六、七三〇
擁壁	一、八四三・三六 平方米	二五、六三三	五七・八六 平方米	一、一〇〇	一、八四三・三六 平方米	二五、六三三
路面	〇	〇	七九、七四八 平方米	九、〇〇七	七九、七四八 平方米	九、〇〇七
溝橋	三三〇・三三 米	一、三〇〇	二九・五五 米	一、一〇〇	三三〇・三三 米	一、三〇〇
側溝	七五、五六・七五 箇所	三、八二二	一、八三・五五 箇所	八、一〇〇	七五、五六・七五 箇所	三、八二二
橋梁	〇	〇	〇	〇	〇	〇
工事	〇	〇	〇	〇	〇	〇
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇
用具	〇	〇	〇	〇	〇	〇
機器	〇	〇	〇	〇	〇	〇
雜費	〇	〇	〇	〇	〇	〇
總計	一	一〇〇	一	一〇〇	一	一〇〇



第八三 國道十六號線(大阪)改良工事

時局匡救

緒言

前項ト同一線路ニシテ昭和九年度ニ於テ時局匡救事業トシテ工費二十萬圓ノ下ニ大阪府泉北郡大津町下條地内八年度事業工事終點ニ引續キ大阪府泉北郡大津町宇多地内ニ至ル四百七十米間ヲ施工ス此間ハ前年度區間ト同様人家稠密ニシテ土地買收物件移轉等ノ困難ト加之土地買收ニ不應諾ノ者モ生ジ致シ方ナク三萬七千七十五圓八十七錢九厘ノ工費ヲ十年度ニ繰越スノ止ムナキニ至レリ之ヲ以テ昭和六年度以降累計竣功延長一萬二千百七十七米、鋪裝面積實ニ十四萬七十一平方米、外ニ第二種鋪裝(簡易鋪裝)七千九百三十二平方米ニ達シ此間貨物運輸業者ノ懊惱ノ聲ヲ絶シ昔日ノ感ヲ改メ大津町及濱寺町ヨリ大阪ニ至ル時間ノ短縮ヲ來シ貨物運搬自動車、乘用自動車等ノ燃料其他ノ負擔ノ輕減トナリ從ツテ運賃ノ低下トナリ交通量ノ増加ヲ來セシ感アリ

計畫大要

工事施行延長四百七十米、幅員十六米ニシテ各側二米五ノ歩道ヲ設ケ車道ハ十一米トシ基礎混凝土上層アスファルトコンクリート鋪裝トシ歩道ハ場所打混凝土鋪裝ト爲ス而シテ横斷勾配ハ歩道ハ五十分ノ一直線勾配、車道ハ五十分ノ一双曲線勾配トス次ニ縱斷勾配ハ在來地盤ヲ斟酌シテ之ヲ五百分ノ一以下ト爲ス路線ノ屈曲點ハ昭和八年度終點ヨリ約百三十五米ノ地點ニ設ケ其半徑ヲ六百米トス路面ノ排水

ハ街渠集水柵ニ依リ縱斷的ニ布設セル排水管ニ導キ最寄ノ水路ニ放流ス
地下埋設物トシテハ新タニ設置スル計畫ナリ

施工狀況

本年度當初ニ於テハ八年度時局匡救事業九年度繰越ニ掛ルモノ、施工ヲナシ昭和九年六月二十二日九年度工事執行命令ヲ得ルト同時ニ用地買收物件移轉其他ニ着手其完了ノ部分ヨリ工事ヲ開始ス施工ハ全部國直營ノ下ニ行ヒタリ

本年度工事施行區間ハ人家櫛比シ居リ土地買收物件移轉ニ對シ不應諾ノ者點在シテ縱斷的ニ一貫シタル工事ヲ施行シ能ハズ先ヅ橫斷的ニ埋設スベキ水拔管、集水柵等支障少キモノヲ施工シ土地買收物件移轉事務ヲ督勵シテ極力其進捗ヲ計リ諒解ニ努メタル結果漸ク二件ヲ殘シテ承諾ヲ得タリ依テ先ヅ排水管ヲ所定ノ勾配ニ入念ニ造リ上ゲタル基礎混凝土上ニ据ヘ所定ノ箇所ニ擁壁及路床ヲ築造セリ

路床ヲ築造スルニ當リテ長野、大津線以南約二百米間ハ地下水高ク路盤充分ニ固マラス依テ地下四尺ノ所ニ盲溝ヲ作り集水シテ新川ニ吐水セリ

路床工殘土ハ大津川右岸堤防、堤内地側法腹ニ貯積シ後年度工事ニ使用スルコトトセリ

在來土地土質路盤トシテ不適當ナルモノハ全部良質ノ土砂ト入レ替ヘ水締其他適當ナル方法ヲ以テ土ノ沈定ヲ期シ輾壓ヲ容易ナラシムル爲メ表土トシテ山土或ハ眞土ヲ十二糎乃至二十糎ノ厚サニ被覆シ三噸乃至十噸半ノ輾壓機ヲ使用シ充分輾壓ヲ爲シツツ規定ノ橫斷形狀ヲ造リ路盤堅固トナリ轍跡ノ無キニ至リテ路床ノ構築ヲ終ル次ニ街渠工及車道混凝土工ヲ施ス混凝土ハ四才乃至十四才練混凝土混合

第八四 國道十八號線(京都)改良工事

八年度時局匡救
時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度ニ於ケル國道改良事業費トシテ二十一萬圓及昭和八年度繰越工事費六千九百一圓四十九錢、合計二十一萬六千九百一圓四十九錢ヲ以テ施行セルモノニシテ其區域ハ老ノ坂側ハ京都府乙訓郡大枝村大字沓掛地内ヨリ京都府南桑田郡篠村大字王子地内、觀音峠側ハ京都府船井郡園部町大字木崎地内ヨリ同郡竹野村大字新水戸地内ニシテ其施行延長前者ハ二千九百九十米、後者ハ五千二百二十四米、合計八千百十四米間トス

計畫大要

一、老ノ坂側

國道十八號線ハ京都郡界ヨリ漸ク山間部ニ入り乙訓郡大枝村大字沓掛ヨリ峽谷ニ沿ヒテ北上シ丹波山城ノ國境タル老ノ坂峠ヲ隧道ニテ通ジ南桑田郡篠村ヲ經テ龜岡町ニ至ル此間大枝村大字沓掛ヨリ篠村大字王子地内王子橋ニ至ル間延長約五軒ハ全ク山間部ニシテ道路幅員ハ平均五米五ナル上勾配急峻幾多ノ小屈曲連續シ見透シ不充分ニシテ最小屈曲半徑十一米ニ足ラザル所アリ
丹波側ハ昭和八年度國直轄事業トシテ改良工事ヲ施シ殆ンド其工ヲ終ヘタルヲ以テ交通上ノ便大ニ開ケタリ本年度ハ其起點ヨリ引繼ギ京都市ヘ向ヒ九百米間ノ改良工事ニシテ大體在來ノ國道ニ沿ヒ屈曲

緩和、突角剪除及縱斷勾配ノ整理ヲ爲シタルモノナリ尙舊隧道ハ各所ニ漏水甚シク加フルニ西口ヨリ約四十米間ハ側壁、拱部共崩壞ニ瀕シ交通ハ全然不能ノ状態ナリシヲ以テ新隧道開通後不取敢危險部分ノ崩壞セザル様土石ヲ填充シ且杭門ヲ閉鎖シテ交通止ヲ爲シ内部漏水ハ圓管ニ依リテ外部ニ排水セルモノトス

道路有効幅員ハ七米五ニシテ兩側二十米五ノ路肩ヲ設ケ全幅員ヲ八米五トシ步車道ノ區別ハ設ケズ路面ハ砂利道トシ横斷勾配ハ二十分一拋物線形トス又路面排水ハ切取箇所ニ於テハ路端ニ設ケタル側溝ニ依リ附近水路ヘ流入セシム在來用惡水路ノ國道ニ依リテ遮斷セラレル箇所ニハ地形及流量ニ應ジテ各適當ナル斷面ノ暗渠ヲ設ケ流下ニ支障ナカラシム

最急縱斷勾配ハ二十分ノ一ニシテ其延長ハ三百米、最小屈曲半徑ハ五十米ナリ

尙昭和八年度工事區域内ニ於テ工費ノ都合ニ依テ工事ヲ打切レル擁壁工事ハ其施行殘部ニ對シ改メテ計畫ヲ樹立シ施行セリ

此外工事ノ都合ニ依リ本年度ヘ繰越セル工事即チ路床、側溝、雜工（新設隧道西口上部法切工事）及隧道新設ヲ併セテ施工セリ

二、觀音峠側

國道十八號線中京都府船井郡園部町ヨリ同郡竹野村ニ至ル間ニハ海拔二百八十五米ノ觀音峠介在スルアリ昭和八年度國直轄ニテ其最難險部分ノ改良工事ハ略竣功ヲ見タリト雖モ前年度工事起點ヨリ園部町ニ達スル區間ハ尙幅員狹小、屈曲多ク急勾配ニシテ交通機能ヲ完カラシムルヲ得ザル状態ナリ本年度ハ前年度改良工事ニ引續キ園部町内園部大橋ニ至ル延長二千五百六十四米間ノ改良ヲ施行シタルモノ

ニシテ大體在來ノ國道ニ沿ヒ小屈曲ヲ除去シ全般ニ互リ縱斷勾配ノ緩和整理ヲ爲シ幅員ノ擴大ヲ爲シタルモノナリ

最急縱斷勾配ハ二十分ノ一ニシテ其延長七百六十米最小屈曲半徑六十米ナリ又有効幅員其他ニ就テハ老ノ坂側ト同様トス

尙昭和八年度工事區域内ニ於テ工費ノ都合ニ依テ工事ヲ打切レルモノ即チ路床工事、擁壁工事ハ其施工殘部ニ對シ改メテ計畫ヲ樹立シ施行セリ

此外工事ノ都合ニ依リ本年度へ繰越セル隧道新設工事モ併セテ施行セリ

施工狀況

老ノ坂側ハ沓掛路床工事外五工事ニ分チ昭和九年六月十六日ニ先ヅ路床工事ニ着手シ以來着々各工事ノ進捗ヲ計レリ尙繰越工事ハ老ノ坂側溝工事外三工事ヲ四月一日ヨリ引繼ギ施行シ隧道新設工事ノ昭和九年七月五日竣功ヲ最後トシ全部完成セシメタリ

觀音峠側ハ觀音峠路床工事外七工事ニ分チ昭和九年七月一日着手シ順次各工事ノ進捗ヲ計レリ尙繰越工事ノ隧道新設工事ハ前年度ヨリ引繼ギ四月一日ヨリ施行シ八月十四日ニ竣功セシメタリ

一、老ノ坂側九年度工事

(イ)沓掛路床工事 本工事ハ乙訓郡大枝村大字沓掛地内ニ於テ延長九百米施行セルモノニシテ切取量一萬九千八百立方米、盛土量八千四百九十立方米ナリ切取量ノ内約七八%ハ岩石ナリシヲ以テ之ガ掘鑿ニハダイナマイトヲ使用シ運搬ニハ貨物自動車、零立方米六積箱土運車ニ依ル人力運搬及鐵製一輪車ヲ用

ヒタリ切取法面ハ硬岩五分、軟岩七分、土砂一割ノ勾配トシ土砂切取面ニハ芝付ヲ行ヘリ又盛土箇所ニハ法勾配ヲ一割及一割五分トシ前者ハ石土羽、後者ハ筋芝工ヲ行ヘリ尙切取土石ノ剩餘ノ分ハ附近ノ適當ナル窪地へ棄捨セルモノニシテ昭和九年六月十六日着手シ昭和十年三月三十一日竣功セリ

(ロ)老ノ坂擁壁工事 本工事ハ乙訓郡大枝村大字沓掛地内ヨリ南桑田郡篠村大字王子地先ニ至ル延長一千百二十六米ニ施行セルモノニシテ前年度工費ノ都合ニ依リテ打切トナレルモノヲ本年度ニ於テ施行、殘部個部ニ對シ更メテ設計ヲ樹立シ昭和九年八月一日着手セルモノニシテ切取法面ノ脆弱ナル箇所ニ土留用トシテ石積擁壁ヲ爲シ又切取箇所ニ於ケル側溝路肩保護トシテ混凝土擁壁ヲ施行シ昭和九年十月三十一日竣功セリ

(ハ)沓掛暗渠工事 本工事ハ大枝村大字沓掛地内ノ國道改良工事ニ伴ヒ中心線ノ移動ニ依リ在來ノ水路ヲ遮斷スルヲ以テ地形及流量ニ應ジ在來函渠擴築一箇所、函渠一箇所、鐵筋混凝土管渠五箇所、計七箇所ノ施行ニシテ昭和九年九月一日着手シ昭和十年一月三十日竣功セリ

(ニ)沓掛擁壁工事 大枝村大字沓掛地内延長一千五百六十二米ニ施行セルモノニシテ本區間ハ北側ハ大部分切取、南側ハ在來水路又ハ付替部分ナルヲ以テ切取部分ノ法尻ニハ側溝土留用トシテ混凝土擁壁ヲ築造シ水路ニ面シタル部分ニハ高二米乃至二米五ノ割石積擁壁ヲ施工スルモノニシテ昭和九年九月十六日着手シ昭和十年三月二十二日竣功セリ

(ホ)老ノ坂舊隧道埋戻工事 南桑田郡篠村大字王子地内ノ前年度施行セラレタル新設隧道ノ爲メ不用トナリタル舊隧道ノ西口ヨリ四十米間ハ龜裂ヲ生ジ落盤ノ虞アル部分ノ埋戻工事ニシテ土石ヲ填充シ安全ヲ期セントスルモノニシテ尙補強ノ爲メ三箇所へ厚一米五ノ栗石、混凝土間壁ヲ施行ス西口坑門ヨリ

外部へ二十米間ハ高約六米五土石ヲ埋戻シソレヨリ約一割五分勾配トシ法面ニハ筋芝工ヲ施セリ埋戻土石ハ沓掛路床工事ノ剩餘土石ヲ利用運搬セリ尙坑内ハ湧水甚シキヲ以テ之ガ排水ニハ内徑十八糎ノ鐵筋混凝土管ヲ二列布設導流シ坑外ニテ側溝ニ流入セシメタリ昭和九年十一月十一日着手シ昭和十年一月三十一日竣功セリ

(ヘ)老ノ坂路面工事 乙訓郡大枝村大字沓掛地内ヨリ南桑田郡篠村大字王子地先ニ至ル間ノ路面ヲ先ヅ整理シ後厚平均五糎ノ砂利ヲ敷込ミ特ニ輾壓ハ行ハズ一般交通ヲ利用セリ尙砂利ハ直營ニテ採取シ貨物自動車ニテ現場へ運搬セリ昭和十年一月十六日着手シ銳意進捗ヲ圖レルモ一部分ハ翌年度へ繰越ス事トナレリ

二、老ノ坂側八年度繰越工事

(イ)老ノ坂路床工事 前年度ニ於テ切取盛土等殆ンド終了シ本年度ニテニ芝付工ヲ行ヒ昭和九年五月十五日竣功セリ

(ロ)老ノ坂側溝工事 新設隧道前後ノ人家所在箇所ノ排水用トシテ施工セルモノニシテ前年度ニ於テ床掘及基礎工ハ殆ンド終了シ本年度ニテハ混凝土及石積工ヲ施行シ昭和九年五月三十一日竣功セリ

(ハ)老ノ坂隧道新設工事 本工事ハ在來隧道ノ北側ニ之ト並行シテ隧道ヲ新設セルモノニシテ前年度ニテ大部分終了シ本年度ニテハ坑門ノ額石ノ加工及据付工事ヲ施行セルモノニシテ昭和九年七月五日竣功セリ

(ニ)老ノ坂新設隧道西口上部法切取工事 新設隧道西口上部ガ隧道掘鑿ノ進行並道路幅員ノ切擴ゲニ依ル在來ノ法足切取ノ結果偶々附近ハ傾斜粘土層ヲ含ム赤土層ナリシヲ以テ廣範圍ニ互ル地盤滑動ヲ起

シ山頂山腹ニ龜裂ヲ生ジ隧道並道路ノ保全上適當ナル勾配ニ法切ヲ必要トスルニ至リ昭和九年二月一日着手シ段形ニ切取ヲ行ヒ土壓ノ低減ト崩壞ノ危險ヲ避ケ前年度ニテ大部分ハ終了セルモ本年度ハ切取法面へ張芝工ヲ施シ法面ノ保護ヲ爲シ昭和九年五月十五日竣功セリ

三、 觀音峠側九年度工事

(イ) 觀音峠路床工事 船井郡園部町大字木崎地内ヨリ同郡竹野村大字新水戸地内ニ至ル延長二千三百十四米間ノ路床工事ニシテ前年度施行セル園部及竹野路床工事ノ工費ノ都合ニ依リテ打切トセシモノノ殘部ニ對シ更メテ本工事ヲ計畫施行セシモノナリ

昭和九年七月一日着手シ切取土石中硬軟岩ハ主トシテダイナマイトノ爆破ニ依リテ掘鑿シ運搬ニハ零立方米六積箱土運車ヲ使用シ盛土ニ充當セリ切取法面ノ中土砂ノ部分及盛土ノ法面ニハ保護ノ爲メ芝付工ヲ施行シ昭和十年三月二十九日之ヲ竣功セリ

(ロ) 木崎路床工事 船井郡園部町大字木崎地内ニ於テ延長二千五百六十四米間ニ施行セルモノニシテ切取量二萬二千七百立方米、盛土量二萬八千八百立方米ナリ盛土量ノ不足六千百立方米ハ附近ノ適當ナル土取場ヨリ掘鑿運搬セリ

切取量ノ内約七十%ハ岩石ナリシヲ以テ之ガ掘鑿ニハダイナマイトヲ使用シ運搬ニハ零立方米六積箱土運車及貨物自動車ヲ用ヒタリ

切取法面ハ硬岩五分、軟岩七分、土砂一割ノ勾配トシ盛土法面ハ一割五分勾配トシ筋芝工ヲ施セリ昭和九年八月十七日着手シ進捗ヲ計レルモ一部ハ翌年度へ繰越スコトトナレリ

(ハ) 觀音峠擁壁工事 船井郡園部町大字木崎地内ヨリ同郡竹野村大字新水戸地先ニ至ル延長二千六百三

十一米五ニ施行セルモノニシテ前年度工費ノ都合ニ依リテ打切トナレルモノノ施行殘餘ノ部分ニ對シ更メテ設計ヲ樹立セルモノニシテ昭和九年十月一日着手シ切取法及盛土法ノ脆弱ナル箇所ノ法尻ニ土留用トシテ練石積ヲ施シ又切取箇所ニ於ケル側溝法肩保護トシテ混凝土擁壁ヲ施行セル中場所及流水ノ量ニ應ジ工法ヲ三種類ニ分ツヲ得策トシ尙工事ノ進捗ト共ニ施行延長ノ増大ヲ要スルニ至リ十二月十三日設計變更ヲ爲シ昭和十年三月十一日竣功セリ

(ニ)木崎擁壁工事 船井郡園部町大字木崎地内ノ延長一千八百十七米ニ施行セルモノニシテ切取箇所ニ於テ排水溝ノ埋没ヲ防グト共ニ路肩ノ維持ヲ全カラシムル爲メ土留用トシ路肩ニ混凝土擁壁ヲ施行シ尙切取法面ノ脆弱ナル箇所ニ石積擁壁ヲ施工セシモノニシテ昭和九年十二月十六日着手シ昭和十年二月十日竣功セリ

(ホ)木崎暗渠工事 船井郡園部町大字木崎地内ノ國道改良工事ニ伴ヒ在來ノ用惡水路ヲ遮斷スルヲ以テ地形及流量ニ應ジ各種適當斷面ノ暗渠ヲ築造シ從來ノ用途ニ支障ナカラシメタルモノニシテ昭和十年一月五日着手シ石積函渠九箇所、鐵筋混凝土管渠二十箇所、計二十九箇所ノ施工ヲ爲シ昭和十年二月十三日竣功セリ

(ヘ)木崎側溝工事 船井郡園部町大字木崎地内ノ終點附近ニ於ケル人家所在箇所ノ路面排水用トシテ施行セルモノニシテ混凝土造リ開渠トシ幅ハ内法三十糎、深ハ地形ニ應ジ二十七糎ヨリ五十七糎ニ變化セシメ昭和十年二月十二日着手シ昭和十年二月二十八日竣功セリ

(ト)木崎水路付替工事 船井郡園部町大字木崎地内ノ國道改良工事ニ伴ヒ在來道路ヨリ幅員ノ擴大又ハ中心線ヲ移動セシメ在來道路ニ沿ヒシ用惡水路ハ遮斷セラレシヲ以テ之ガ付替ヲ爲スモノニシテ流量

第六章 國道改良工事（國道十八號線（京都）改良工事）

總計	器具機械費	
13,000	○	○
13,000	1,388	6,920
13,000	○	○
0.6		

第八五 國道十九號線(島根)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和八年度ニ於ケル時局匡救事業トシテ工費三十萬圓ナリシガ昭和九年二月六日六萬圓ヲ増額シ總工費三十六萬圓ヲ以テ施行スルモノニシテ其區域ハ松江市伊勢宮町、和多見町ヨリ東本町地先間ニシテ在來國道ハ伊勢宮町、和多見町ニ於テ幅員十四米、東本町ニ於テ二十米ヲ有スレ共大橋川ニ遮斷サレ兩町ヲ聯結スル橋梁ナク現在車馬ノ交通ハ上流大橋ニ依ルノミニシテ其下流ノ新大橋ハ明治四十三年松江大橋改架ノ際假橋トシテ架設シタルモノニシテ腐朽甚シク昭和二年以來車馬ノ交通ハ禁止サレ居ル状態ニシテ交通上ノ不便ハ因ヨリ産業ノ進展ニ影響スル所尠カラズ之ガ橋梁架設ノ要切ナルモノアリ依テ松江新大橋ノ架換工事ヲ施行セントスルモノナリ

計畫大要

本工事計畫ハ橋長百四十米五、徑間ノゲルバー式鐵桁橋ニシテ中央及兩端徑間ニ鉸ヲ插入シ中央最大徑間ヲ三十二米、全幅員ヲ十三米トシ歩車道ノ區別ヲ設ケ車道ヲ七米七、歩道ヲ有効二米二五トス上部構造ハ主桁六本鐵筋混凝土床版ヲ以テス橋脚ハ深十四米ノ鐵筋混凝土井筒ヲ以テ基礎トシ之ヲ水底地盤下約十二米ニ在ル砂利層ニ達セシム橋臺ハ杭打基礎、鐵筋混凝土造扶壁式トシ橋面ハ歩車道共アスフアルトブロック鋪裝ト爲ス

右岸國道取付箇所臨港道路上ニ斜長六米六、幅員十八米三ノ鐵筋混凝土床版混凝土橋臺ノI型鋼桁式陸橋ヲ架設ス取付道路ハ延長左岸七十米、右岸八十二米トス

施工狀況

昭和八年四月一日島根國道改良事務所ヲ島根縣八束郡川津村大字西川津斐伊川改修事務所内ニ設置シ事務ヲ開始ス同年五月三十一日松江市伊勢宮町地先ニ見張所ヲ建設シ此處ニ同年八月一日伊勢宮工場ヲ設置ス

本工事ハ昭和八年六月十六日ヨリ先ヅ橋臺工事ニ著手シ前年度迄ニ橋臺工事、陸橋架設工事、碎石工事（雜工事）ヲ竣功シ工費ハ橋臺工事ニ於テ二萬二百六圓、陸橋架設工事ニ於テ七千四百六十四圓（内碎石工ニ依ル生産品價額六百十六圓）碎石工事ニ於テ三千三百八十圓、橋脚工事ハ其七步三厘ヲ竣功シ此工費七萬三千二百八十圓（内碎石工ニ依ル生産品價額一千五百八十二圓）ヲ要シタリ今本年度内施工狀況ヲ述ブレバ次ノ如シ

橋脚工事 前年度ニ於テ一基ノ沈下ヲ終了シ他ノ三基ハ上部一米乃至二米ヲ殘シ繰越シタルモノニシテ前年度通りノ設備及施行ノ順序方法ニ依リ引續キ工ヲ進メ昭和九年六月三十日竣功セリ此工費一萬六千三百四十二圓（内碎石工ニ依ル生産品價額九百二十三圓）ナリ

橋體工事 鋼桁及附屬鋼材ノ製作並架設、花崗石親柱步車道境界石ノ加工据付アスファルトプロック鋪裝、塗裝、照明電燈設備ノ諸工事ハ請負ニ附シ橋桁ノ架設ヲ終ルヤ直チニ床版工ニ着手シ型枠ハ全面積ニ互リ一度ニ右岸側ヨリ組立テ混凝土工ハ二區間トシ右岸側ハ八切練混合機一臺ヲ、左岸側ハ八切、十切練

各一臺ヲ使用シ施行シ順次燈柱、高欄及其他鋪裝、塗裝等ノ工ヲ進メ昭和九年十二月十日竣功セリ此工費十七萬一千六百四十圓(内請負工費十三萬四千六百二十四圓)ナリ

取付道路工事(雜工事) 曩ニ本工事敷地ニ運搬セル橋臺、陸橋架設、橋脚等ノ工事ノ掘鑿土砂及本工事掘鑿

土ヲ築立テ兩側ノ石垣工ヲ施シ路面工、街渠、駒止ノ工ヲ進メ之ニ要スル混凝土ハ運搬其他ノ關係ニ依リ

總テ手練トシ路面ノ輾壓ハ島根縣ヨリ六噸ローラ(ガソリンエンジン)一臺、松江市ヨリ三噸ローラ(スチー

ムエンジン)一臺ヲ借受ケ施行シ昭和九年十二月十日竣功セリ此工費一萬四千十圓(内碎石工ニ依ル生産

品價額二百五十八圓)ナリ

排水路工事(雜工事) 取付道路掘鑿ノ終ルヲ俟テ先ヅ付替暗渠、函渠ノ施行ニ掛リ順次ニ工ヲ進メ自動排

水機ヲ据付ケ昭和九年十一月十五日竣功セリ而シテ自動排水機ノ設備ニ關シテハ之ガ据付マデ及動力

用送電工事ハ請負ニ付シタリ本工事費ハ五千三百八十九圓(内請負工費九百九十九圓)ナリ

木工事本年度竣功高ハ二十一萬九千九百二十八圓ニシテ昭和九年十二月十日ヲ以テ本松江新大橋架換

工事ハ全ク竣功ヲ告ゲタルヲ以テ昭和九年十二月三十一日限リ事務所ヲ閉鎖シ殘務ハ斐伊川改修事務

所ニ於テ之ヲ取扱フコトトナリタリ

竣功表ハ左ノ如シ但シ表中「△」ハ生産品價額ヲ示ス

費目	前年度迄竣功高		本年度竣功高		合計		竣功
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
橋	1	100,000	1	100,000	2	200,000	100%
橋臺	2	100,000	1	100,000	3	300,000	100%

總計	雜費	器費	工費		費目
			陸橋	橋脚	
計	具	機	械	雜	陸橋
					前年度迄竣工高
					數量
					金額
1180,081	181,151	196,000	33,379	68,488	72,696 158,323 1,583,234
					本年度竣工高
					數量
					金額
226,218	11,136	25,922	29,141	11,136	15,429 92,333 1,542,924
					合計
					數量
					金額
1387,299	292,287	321,922	62,520	79,624	877,177 1,140,604 3,126,158
					竣功
1.00			1.00	1.00	劃分

第八六 國道二十二號線(香川)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度ニ於ケル時局匡救道路改良工事トシテ總工費二十萬圓ヲ以テ高松市花園町字外間地内ヲ起點トシ香川郡太田村及高松市松島町地内ヲ經テ木田郡木太村字西濱地内ニ至ル延長一千六百七十五米ノ區間ノ道路ヲ改良施行スルモノトス

計畫大要

國道二十二號線ハ岡山縣御津郡大野村ニ於テ二號路線ト分岐シ同縣兒島郡宇野町、香川縣高松市、同縣大川郡津田町、德島縣板野郡板西町ヲ經由シ以テ德島市ニ達スル路線ニシテ高松、德島兩市ヲ聯結スル重要幹線ナリ又之ガ沿線地方ハ史蹟名勝ノ地ニ富ミ觀光客夥シキノミナラズ農水產物極メテ豊富ニシテ是等產物ハ國道ヲ利用シ運搬セラルル以テ其交通量逐年激増ノ趨勢ニ在リ然ルニ當國道ノ幅員ハ狹隘ニシテ且不規則ナル小屈曲甚シケレバ自動車運輸等ノ爲メ交通ノ危險ヲ感ジ一般交通ノ圓滑ヲ缺キ延テハ產業發達ヲ阻害スル虞レアルノミナラズ現今特ニ激増シツツアル自動車交通ノ爲メ荒廢セル路面ハ其維持修繕ニ多額ノ費用ヲ投ゼルモ繁激ナル交通ニハ到底耐ヘ得ザル狀態ニ在リシヲ以テ之ガ改良ヲ計畫セシモノナリ而シテ路線選定ニ當リテ出來得ル限り地上物件其他ノ障礙物ヲ避ケ工事ヲ容易ナラシメタリ其大要ヲ示サバ高松市花園町ヲ起點トシ東方ニ向ヒ約百五十五米ノ地點ニ於テ高松電氣軌道

ト平面交叉ヲ爲シ夫レヨリ交叉角左六度三十二分十秒ニテ左折シ二百八十二米ノ地點ヨリ勾配零七%ニテ昇リ御坊川ヲ渡リテ勾配零八%ニテ約九十九米ヲ下リ夫レヨリ一路東ニ向ヒ一千五百三米ノ地點ニ於テ現在國道ニ接續スルモノトス

施工狀況

昭和九年五月一日先ヅ高松市玉藻町香川縣港務所三階ニ假事務所ヲ設置シ調査竝諸準備ヲ進メ用地買收等モ事務所開始ト共ニ擔任者ヲシテ所要土地ノ分筆測量其他諸般ノ調査ヲ爲サシメ傍ラ工事着手ニ支障ナカラシメン爲メ全線ニ互リ起工承認ヲ得ルニ努メタリ而シテ是等起工承諾書ハ土地所有者及借地人連署ノモノニシテ而モ金額記入ナキモノナル爲メ關係者ハ他日土地買收發表ニ際シ不利ヲ招來スルノ懼レナキヲ保シ難シトノ杞憂ノ念ヲ抱キ爲メニ調印取纏メニ相當困難ヲ生ジタルモ工事施行上緊要ナルヲ以テ道路工事本來ノ目的竝性質ヲ懇切ニ説明シ納得ニ努メタル結果關係者モ諒解スルニ至リ工事着手ニ何等支障ヲ來スコトナク全部ノ承諾調印ヲ了セリ依テ同年九月十六日土地買收價額ノ協議ヲ開始シ昭和十年二月買收事務ノ完了ヲ見ルニ至レリ又地上物件移轉等モ種々調査ノ完了ヲ俟ツテ昭和九年八月十日地上物件移轉料竝之ニ伴フ損失補償料ニ關シ協議ヲ開始シタル處移轉地先選定ニ困難或ハ移轉料不足等ノ理由ノモトニ二三異議ヲ稱スル者アリシモ其不當ナラザル所以ヲ懇切ニ説キタル結果非ヲ悟リ一面工事ノ性質ヲ理解シ同年十月九日ヲ以テ全部ノ調印ヲ了シ同年十二月移轉ヲ完了スルニ至レリ

而シテ之ヨリ先八月一日工事着手ニ伴ヒ現場トノ聯絡利便ヲ考慮シ八月九日起點ニ近キ市内鹽上町所

在ノ民家ヲ借入レ事務所ヲ移轉セリ次デ十日同所ニ高松工場ヲ設置シ以テ直接工事施行ニ當ラシムル
ト共ニ高松市花園町地内及松島町地内ニ各見張所ヲ新築シ前者ヲシテ高松市地内改良工事ヲ、後者ヲシ
テ太田村竝木太村地内改良工事ヲ夫々監督セシメタリ

主要材料タルセメント、砂、砂利、栗石、鋼棒等ハ總テ之ヲ購入シ盛土用土砂ハ春日川河原ニ於テ人力採取ノ
上春日川堤塘竝現國道面上ニ軌條ヲ敷設シ零立方米六積土運車二十臺内外ヲ聯結シ五噸ガソリン機關
車ニ依リテ運搬シ以テ路床ヲ形成シ輾壓ニハ八噸及十噸五ノデューゼル道路輾壓機ヲ使用シテ極力工
事ノ進捗ヲ計リタリ次ニ其工事區域別ニ説明セン

一、高松市地内改良工事

本工事區域ハ高松市花園町地内延長三百八十三米竝同市松島町地内延長百五十二米、合計五百三十五米
ニシテ内花園町地内ハ市街地ナルヲ以テ幅員十五米トシ歩車道ヲ區分シ歩道各二米五、車道十米トシ街
渠ヲ設ケ車道ハセメント混泥土、歩道ハ混泥土ブロック鋪裝トシ街渠二十米毎ニ雨水柵ヲ設ケ街渠下ニ
縱斷排水管ヲ埋戻シ以テ在來水路ニ排水セシメ歩道内側ニハ約十米毎ニ植樹柵ヲ作りプラタナスヲ街
路樹トシテ植栽セルモノトス又太田村及木太村間ニ介在スル松島町地内ハ幅員十米トシ路面充分輾壓
ヲ行ヒ幅員九米ニ砂利厚五糎ニ敷均シ仕上ゲル計畫ナリシモ極力經費ノ節約ヲ計リ工事實施ヲ爲シタ
ル結果豫算額ニ相當剩餘ヲ生ズル見込ミ立チタルヲ以テ中央六米ヲ混泥土鋪裝トシ兩側各一米五ヲ砂
利敷ニ設計ヲ變更シ昭和十年二月十六日之ガ施行認可ヲ得タリ而シテ本工事區域ハ高松市ノ商店街ヲ
貫通シ移轉ヲ要スベキ地上物件最モ多カリシヲ以テ工事上支障ナキ様先ヅ支障物件ナキ部分ノ工ヲ急
ギ而シテ支障物件所在ノ箇所ハ夫々移轉スルヲ俟テ順次ニ着工シ工事ノ進捗ヲ計リタル結果花園町地

内ハ三月末日ヲ以テ僅ニ警戒標建込ノミヲ殘シ全部竣功ヲ告ゲ松島町地内ハ路盤ノ緊結狀態案外ニ良好ナラザリシニ依リ路面鋪裝ノミヲ次年度ニ繰越シタリ

橋梁トシテハ本區域内ニ介在セル水路ヲ横斷スル爲メ設ケラレタル花園橋及C號橋アリ前者ハ高松市花園町地内測點第六號加十米附近ヲ横斷スル惡水路上ニ架セルモノニシテ元來此處ニハ高松市ニ於テ架設シタル橋長米三五、幅員約八米内外ノ鐵筋混凝土床版橋アリ其構造等ヲ調査スルニ利用スルニ支障ナキモノト認メラレタルニ依リ橋臺及床版ヲ繼足シ以テ其幅員ヲ十五米ニ擴大シタルモノニシテ昭和九年十一月工事ニ着手シ同年一月ヲ以テ竣功セリ後者ハ松島町地内ニシテ木太村境ニ接スル地點ヲ横斷スル用水路上ニ架セル鐵筋混凝土造リ長米三五、有効幅員九米ノモノニシテ昭和九年九月着手シ同年一月ヲ以テ竣功セリ

二、太田村地内改良工事

本工事ハ高松市花園町ニ接續シ香川郡太田村福岡上地内延長六百二十八米ヲ施行シタルモノニシテ内道路延長六千二十七米、橋梁延長二十五米三ナリ而シテ本區域ハ全線新設路線ニシテ太田村密集部落及耕地ヲ貫通シテ設ケタルモノニシテ其起點ヨリ御坊川ニ至ル迄延長三十三米三五ノ區間ハ高松市花園町地内トノ接續關係上幅員十一米、内十米ヲ厚二十糎二層式セメント混凝土鋪裝トシ御坊川ニハ新ニ橋長二十五米三、有効幅員十一米ノB號橋(觀光橋)ヲ架設セリ同橋ハ鐵筋混凝土丁型桁橋ニシテ昭和九年十月着工シ同年三月末日竣功セリ爾餘延長五百六十九米三五ノ區間ハ當初設計ニ於テハ路面ヲ厚五糎ノ砂利敷仕上ト爲ス計畫ナリシガ工事實施ニ當リ極力經費ヲ節約シタル結果豫算額ニ相當剩餘ヲ生ズル見込立チタルヲ以テ昭和十年二月ニ至リ設計ヲ變更シ砂利道ヲ廢シ中央六米ヲ厚二十糎二層式セ

メント、混凝土鋪裝、兩側各一米五ヲ砂利敷トシ、全幅十米、有効幅員九米トスルコトトセリ。

工事ハ何レモ順調ニ進捗シ、三月末日ヲ以テ大半竣功シタリト雖モ、全線新設道ニシテ相當ノ盛土アリ地盤ノ自然固定ヲ待タズシテ之ヲ輾壓ニ依リテ、混凝土鋪裝トシテ完全堅固ナル路盤ヲ急速ニ構成スルコト至難ナル事情ニ立至リタルヲ以テ、路面混凝土鋪裝及兩側砂利敷工ハ全部之ヲ次年度へ繰越シタリ。

三、木太村地内改良工事

本工事ハ高松市松島町(太田村、木太村間ニ介在)ニ接續シ、木田郡木太村宇洲端地内舊國道ト、出會點ヲ終點トスル延長三百四十米、内道路延長三百三十六米三、橋梁延長三米七ノ區間ヲ施行セルモノニシテ之ヨリ先ハ工費ノ都合上、詰田川橋改築(區間四十米)ハ之ヲ控除シ、本區域ノ終點ヨリ詰田川橋西詰ニ至ル延長百四十米竝同橋束詰ヨリ延長三十二米即チ橋梁前後計延長百七十二米ノ區間ハ之ヲ聯絡道路トシテ幅員ヲ十米ニ擴張シ、現詰田川橋橋面ニ勾配良ク取付タル様適當ノ盛土工ヲ施シ、路面ハ砂利厚五糎ニ敷均シ仕上グル計畫トセリ。

本區域ハ殆ンド耕地ヲ貫通セル新設路線ニシテ、全幅十米、有効九米トセルモノニシテ、其路面ハ當初厚五糎ノ砂利道ト爲ス計畫ヲ以テ工ヲ進メタリシガ、前述ノ如ク二月之ガ設計ヲ變更シ、砂利道計畫ヲ廢シ、中央六米ヲ厚二十糎二層式セメント混凝土鋪裝、兩側各一米五ヲ砂利敷トナスコトトセリ、而シテ工事ハ着手以來順調ニ進捗シ、三月末日ヲ以テ大半其功ヲ竣ヘタリト雖モ、路面混凝土鋪裝及兩側路面砂利敷ハ太田村地内改良工事ニ於ケルト同様ノ理由ニ依リ之ヲ全部次年度ニ繰越セリ、尙詰田川橋前後延長百七十二米ノ區間ニ於ケル聯絡道路ノ計畫ハ同橋改築ヲ爲サザル場合ニ於ケル計畫ニシテ、同橋改築ノ場合ニハ其橋面ヲ現在ヨリ約一米上昇セシムル必要アルヲ以テ、前後道路ノ路面高竝勾配ヲ本計畫ニ變更セサ

第六章 國道改良工事 (國道二十二號線(香川)改良工事)

總計	雜費	共濟組合給與金	器具機械費	物件移轉其他補償費
121,828	110,318	11,708	11,708	31,104
121,828	110,318	11,708	11,708	31,104
0				

第八七 國道二一十五號線(佐賀)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ工費二十五萬圓ヲ以テ昭和八年度時局匡救事業トシテ二十五號國道佐賀縣佐賀市道祖元町ヨリ同縣佐賀郡嘉瀬村大字扇町ニ至ル延長一千二百七十三米八ヲ改良スルノ計畫ナリシモ工事中途ニシテ工費ニ剩餘ヲ生ズル見込トナリシ爲メ更ニ三月下旬一萬五千圓ノ追加豫算ヲ受ケテ佐賀縣佐賀市赤松町ヨリ同縣同市與賀町ニ至ル延長百三十五米ヲ追加施行スルコトトシ總延長ヲ一千四百八米八總工費ヲ二十六萬五千圓トセリ而シテ追加工事區域ニ於テハ佐賀市企畫ニ係ル幅員擴張工事ヲモ併セテ施行シ着手以來銳意進捗ニ努メ大部分ハ昭和八年度内ニ竣功セルモ用地買収及ビ橋梁工事ノ一部ヲ九年度へ繰越施行セリ

計畫大要

佐賀市内ニ於ケル在來國道ハ交通頻繁ヲ極ムルモ幅員僅ニ四米ニ過ギズ然カモ直角屈折ノ箇所多ク自動車運轉上ノ困難尠ナカラズ殊ニ近時交通量ハ益々激増ノ趨勢ヲ示シ之ガ改築ノ要愈々切ナリシヲ以テ昭和七年度ニ於テ與賀町ヨリ道祖元町ニ至ル區間ノ改良工事ヲ國直轄ノ下ニ施行シ昭和八年度ニ於テ更ニ之ガ接續部ノ工事ヲ施行セントスルモノニシテ計畫中心線ハ昭和六年度佐賀縣施行改良區域ト前記國直轄施行改良區域トノ聯絡ヲ考慮シ都市計畫街路網決定線ニ依ルコトトセリ而シテ本工事設計ノ概要左ノ如シ

- 一、 總延長 一千四百八米八ノ内道路一千三百八十八米八、橋梁二十米ナリ
- 二、 有効幅員 十八米、歩道兩側各三米、車道中央十二米ノ延長百三十五米(追加區域)ニシテ外ニ十五米(歩道兩側各三米、車道中央九米)ノ延長一千二百三十八米八、十二米(歩道兩側各二米、車道中央八米)延長三十五米ナリトス
- 三、 路面構造 歩道ハ混凝土塊鋪裝ニシテ横斷勾配五十分ノ一、車道ハ二層式混凝土鋪裝(上層厚五糎、下層厚十二糎)横斷勾配四十分ノ一、一部混凝土塊及クリング網入混凝土鋪裝トス
- 四、 排水設備 在來水路及排水上必要ト認ムル箇所ニハ函型又ハ圓型ノ鐵筋混凝土暗渠ヲ施設シ車道ト歩道トノ境界ニハL型混凝土側溝ヲ歩道ト民地トノ境界ニハU型混凝土側溝ヲ設ク
- 五、 縱斷勾配 最急五十分ノ一、其延長五十一米、最緩六百分ノ一
- 六、 最小屈曲度 百七十四度三十分(曲線部無シ)
- 七、 擁壁 一部水路付替ノ箇所ニ練積及空積ヲ施工ス
- 八、 橋梁 一箇所延長二十米、幅員十二米、鐵筋混凝土丁狀桁橋
- 九、 雜 水門移設水路付替及取付道路ヲ施工ス
- 十、 使用勞働者豫定延人數 四萬三千四百八十五人

施工狀況

一、 工事

準備 本國道改良事務所ハ前年度ニ於テ佐賀市松原町ニ設置セルモノヲ繼續使用シ又見張所モ其儘

存置セリ

用地買収及物件移轉 追加工事區域中ノ用地三百二坪餘ノ買収ヲ九年度ニ繰越スノ止ムナキニ至レルヲ以テ直チニ協議ヲ開始シタルモ全部營業店舗敷地ナリシ爲メ容易ニ協議纏ラズ銳意説得ノ結果遂ニ九月中旬全部ノ承諾ヲ得タリ又移轉家屋モ協議開始當時ハ頗ル強硬ナリシモ土地買収ノ進捗ニ伴ヒ漸次軟化シ土地買収ノ解決ニ先立チ七月初旬全家屋ノ移轉ヲ了セリ

土工 本工ハ専ラ人力ヲ以テ施行シ八年度内ニ大部分ヲ竣功シ本年度ニ於テハ橋梁取付道附近ト追加工事區域トヲ施行セリ橋臺床掘ノ掘戻シハ其深度大ナリシヲ以テ充分ニ蟄槌ニテ搗固メ埋戻セリ而シテ追加工事區域ニ於テハ土地買収及物件移轉ノ進行ニ伴ヒ順次切取ヲ爲シ之ヲ盛土ニ流用シテ十月下旬全土工ヲ完成セリ

擁壁工 八年度末迄ニ約八十二%ヲ竣功シ殘ル百六十二平方米ノ石積擁壁ヲ六月中旬完成セリ

路面工 本工ハ八年度内ニ約七十五%ヲ竣功シ殘餘ハ全部九年度ニ繰越セリ而シテ四月上旬ヨリ當初計畫區域中殘存部タル橋梁工事橋臺前後ノ埋戻シニ着手シ蟄槌ヲ以テ搗固メヲ爲シ遺憾ナキ様充分輾壓シタルモ掘鑿ノ深度大ナリシ爲メ沈下ヲ豫想シテ五十一米五間ノ車道鋪裝ハ混凝土プロック(長二十四輦幅十三輦三、厚十輦)ヲ直營製作シ之ヲ鋪設シ沈下ニ際シテ容易ニ修復出來得ル様施行セリ而シテ沈下ノ虞ナキ區間ハ混凝土鋪裝トシ歩道ハ購入セル混凝土塊(角三十輦、厚六輦)ヲ敷設セリ追加工事區間ハ土工及函渠工事ノ進捗ニ從ヒ九月下旬ヨリ路盤ノ輾壓作業ニ掛リ最初タンDEM型三輦輾壓機ヲ使用シタル後マカダム型十輦輾壓機ヲ以テ充分ニ輾壓シ車道鋪裝ニ着手セリ車道鋪裝ハ先ヅ栗石ヲ敷キ輾壓ノ後下層厚十二輦(配合一、三、六)上層厚五輦(配合一、一、五、三)ノ二層式混凝土鋪裝ヲ施行シ地盤軟弱ナル箇所

ニハ金鋼ヲ挿入セリ而シテ步道ハ直營製作ニ依ル混凝土塊(角三十二糎、厚六糎)ヲ鋪設セリ
 溝橋工 本工ハ八年度内ニ大部分ヲ竣功シ九年度ニ繰越シタルハ追加工事區域中ノ函型溝橋二箇所ノ
 ミニシテ八月上旬ヨリ着工シ床掘、基礎杭打、基礎混凝土打ト順次施行シ十月下旬迄ニ竣功セリ
 側溝工 本工ハU型、L型ノ二種ニシテ八年度ヨリ約十二%ヲ繰越シ土工ノ進捗ニ伴ヒ八月下旬ヨリ着
 工シ地盤軟弱ナル箇所ニハ基礎杭打後栗石ヲ敷キ蟄槌ニテ充分搗固メタル上基礎混凝土ヲ施行シ十月
 下旬竣功セリ

雜工 八年度内ニ約八十%ヲ竣功シ九年度ニハ横斷排水一箇所及新國道ガ舊國道ト交叉セル箇所ノ
 取付道路、三箇所ヲ施行シ七月末竣功セリ

橋梁工 八年度ニ於ケル竣功高ハ約七十%ニシテ下部構造ノ大部分ヲ終了シ九年度ハ四月一日ヨリ橋
 臺、袖石垣、高欄、橋面鋪裝、親柱ト順次ニ施行シ七月上旬迄ニ是等ノ竣功ヲ見タリ

二、 使用材料費及勞力費

本工事ニ使用セシ材料ハ總テ國産品ニシテ其總額前年度九萬九千四百六十四圓、本年度ニ於テハ三萬四
 千百十四圓、合計十三萬三千五百七十八圓ニシテ又使用勞働者延人數ハ前年度三萬八千六百七人、本年度
 ニ於テ六千五百八十七人、合計四萬五千九百九十四人ナリ其勞力費ノ内譯左表ノ如シ

種 別	昭和八年度		昭和九年度		合 計		平均賃金
	延人員	勞力費	延人員	勞力費	延人員	勞力費	
不 熟 練 工	31,400人	1,800,000圓	24,000人	1,400,000圓	55,400人	3,200,000圓	57.76圓
熟 練 工	11,100人	2,100,000圓	10,000人	1,900,000圓	21,100人	4,000,000圓	190.00圓

第八八 國道二一十五號線(佐賀)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ工費十五萬圓ヲ以テ昭和九年度時局匡救事業トシテ二十五號國道佐賀縣佐賀市水ヶ江町ヨリ同縣同市赤松町ニ至ル延長五百七十六米ヲ改良スルモノトス

計畫大要

佐賀市内ニ於ケル在來國道ハ交通頻繁ヲ極ムルモ幅員僅ニ四米ニ過ギズ加フルニ數箇所ノ直角屈折アリ近時自動車交通ノ激增ニ伴ヒ危險甚シク之ガ改良ハ焦眉ノ急ヲ告グル状態ナリシヲ以テ佐賀縣ハ昭和六年度佐賀市水ヶ江町ヨリ佐賀郡巨勢村間ヲ改築シ昭和七、八兩年度ニ於テ佐賀市赤松町ヨリ佐賀郡嘉瀬村大字扇町ニ至ル間ヲ國直轄ノ下ニ改良シタルモ是等兩區間ノ改更ノミニテハ其中間ニ介在スル水ヶ江町ヨリ赤松町ニ至ル間ハ未改築ナルヲ以テ交通ノ安全未ダ全キヲ得ズ本區間改築ノ要愈々痛感サルルニ至レリ而シテ之ガ改良ニ當リテハ既往竣功箇所トノ聯絡ヲ主眼トシ併セテ經濟的關係ヲモ考慮シ計畫中心線ヲ都市計畫街路網決定線ニ依リタリ尙本改良區間ノ内延長三百十九米ノ間ハ佐賀市ニ於テ都市計畫事業トシテ工費一萬八千三百圓ヲ以テ國ノ改良計畫幅員十五米ヲ更ニ三米擴張シ全幅員ヲ十八米ト爲スコトトナレリ此擴幅工事ヲ當所ニ委託シ來レルヲ以テ之ヲ國ノ工事ト併セ施行スルコトトセリ本工事設計概要左ノ如シ

- 一、 總延長 五百七十六米
- 二、 有効幅員 十五米(延長二百五十七米)ト十八米(延長三百十九米)トノ二種トス
- 三、 路面構造 有効幅員十五米ノ區間ハ歩道三米(車道ノ兩側各)混凝土ブロック鋪裝ニシテ車道九米(中央)二層式混凝土鋪裝上層厚五糎、下層厚十二糎トス有効幅員十八米ノ區間ハ歩道三米(車道ノ兩側各)混凝土ブロック鋪裝ニシテ車道十二米(中央)二層式混凝土鋪裝(上層厚五糎、下層厚十二糎)トス横斷勾配ハ有効幅員十五米ノ區間ハ四十分ノ一拋物線、有効幅員十八米ノ區間ハ四十分ノ一雙曲線トス
- 四、 排水設備 在來水路及排水上必要ト認ムル箇所ニハ鐵筋混凝土管ヲ施設シ車道ト歩道トノ境界ニハL型混凝土側溝ヲ歩道ト民地トノ境界ニハU型混凝土側溝ヲ設クルモノトス
- 五、 縱斷勾配 最急二百分ノ一此延長五十二米、最緩一千分ノ一此延長二百七米ナリ
- 六、 最小屈曲度 百七十五度
- 七、 擁壁 練積石垣ヲ施工ス
- 八、 使用勞働者豫定延人數 一萬九百六十一人

施工狀況

準備 前年度ヨリ引續キ佐賀市松原町所在佐賀縣有建物ノ一部ヲ無償借受ケタル佐賀國道改良事務所ヲ使用シ直チニ諸般ノ工事施行準備ヲ進メ六月中旬混凝土用諸型枠ノ製作並歩道用混凝土ブロックノ直營製作ヲ開始シタリ

用地買收及物件移轉 四月一日調査ニ着手シ六月二十三日買收協議ヲ開始セリ而シテ買收地ノ多クハ

病院、旅館、寫真館等ヲ始メ各種ノ營業家屋敷地トシテ利用セラレ居タルヲ以テ高價ナル買收價額ヲ唱へ容易ニ協議ニ應ゼザリシカバ諄々其非ヲ諭シ大イニ説得ニ努ムルト共ニ一方頑迷ニシテ理解ノ見込ナシト認ムルモノニ對シテハ強制徵收ノ手段ニ訴フルコトトシ土地收用法ヲ適用セリ又移轉家屋ノ大部分ニハ借家營業者居住シ協議額ニ對シテ不服ヲ訴へ頗ル強硬ナリシモ土地買收ノ進捗ニ伴ヒ漸次軟化セリ然ルニ二、三ノ營業者ハ飽迄不當ナル移轉料ヲ要求シ其理非ヲ解セザリシヲ以テ土地收用法ヲ適用セリ

土工 六月中旬着工シ先ヅ工區ノ東部ヨリ人力ヲ以テ施行シ用地買收及物件移轉ノ進捗ニ伴ヒ漸次其區域ヲ擴大シ全區域ニ及ボシタリ而シテ切取土ハ全部盛土ニ流用シタルモ尙不足ヲ生ジタルヲ以テ一千二百立方米ヲ購入シテ之ヲ補ヘリ

擁壁工 八月上旬ヨリ床掘ニ着手セリ施行箇所ハ短距離ナリシモ池沼ナリシ爲メ工事ハ相當困難ナリシモ基礎杭打、石積、埋戻シト順次工ヲ進メ八月末迄ニ竣功セシムルヲ得タリ

路面工 九月上旬本工ニ着手セルモ舊道擴張工事部分及新設工事區間ハ地盤軟弱ナルヲ以テ良質土ト切替へ充分蛸槌ニテ搗固メ諸構造物ノ進工ニ伴ヒ十二月下旬ヨリ路面ノ輾壓ヲ始メ最初タンDEM型三噸輾壓機次ニマカダム型十噸輾壓機又ハケムナーマカダム型十噸輾壓機ノ順ニ充分輾壓セリ車道鋪裝ハ先ヅ栗石ヲ敷キ其上ニ二層式混凝土鋪裝ヲ爲スモノトシ下層施工後直チニ上層混凝土ノ鋪裝ヲ爲セリ尙總テ車道鋪裝ニハ金網ヲ挿入シ歩道鋪裝ハ直營製作セル混凝土ブロック鋪裝トセリ斯シテ三月中旬全ク竣功セリ

溝橋工 鐵筋混凝土函型暗渠三箇所鐵筋混凝土圓管一箇所ニシテ何レモ床掘後基礎杭打ヲ爲シ直チニ

基礎混凝土ヲ施行シ其上ニ築造セリ而シテ年度内ニ全部竣功セリ
 側溝工 本工ハU型、L型ノ二種ニシテ土工ノ進捗ニ從ヒ先ヅ地盤軟弱ナル箇所ニハ基礎ヲ打チ栗石ヲ敷均シ充分ニ搗固メ基礎混凝土ヲ施シ逐次工ヲ進メ年度内ニ竣功セリ
 本工事ニ使用セシ材料ハ總テ國產品ニシテ其總額四萬四千八百二十一圓ナリ又使用勞働者延人數ハ九千三百二十五人ニシテ其勞力費ノ内譯ハ左表ノ如シ

種 別	延 人 員	勞 力 費	一 人 當 り 平 均 賃 金
不 熟 練 工	六、〇五八人	五、八二九圓四角	〇圓 八六分
熟 練 工	八、九七〇人	一、八〇〇圓〇角	一圓 九六分
其 他 工	一、九八八人	一、一八〇圓〇角	一圓 九六分
合 計	一六、〇一六	八、八〇九圓四角	一圓 〇四分

本工事ハ可及的の大多數ノ要救濟者ヲ使用スルノ方針ヲ採リ機械力ノ使用ハ必要ナル最小限度ニ止メタリ而シテ使用勞働者ハ佐賀市職業紹介所ニ於テ失業登録ヲ受ケタルモノニ限定シ日々紹介所ヨリ差向ケラレタルモノニシテ使用豫定延人員ヲ突破スルコト一千六百人ニ至ルノ好成绩ヲ得タリ
 本工事ハ着工以來何等ノ支障ナク順調ニ工事ヲ進メ得タルヲ以テ年度内ニ全ク竣功スルニ至レリ今ヤ佐賀市重要幹線ノ改築ハ次第ニ進ミ交通運輸上ニ齎ス便益愈々大ナルモノ在リ工事竣功表ハ左ノ如シ但シ表中〔①〕ハ佐賀縣負擔額〔②〕ハ使用無代價品評價額ヲ示ス

總計	其他諸費	器具機械費	地上物件移轉費	土地買收費	本工事費					費目	
					雜工	側溝	溝橋	路面	擁壁		築堤
											前年度迄竣工高
											數量
											金額
											本年竣工高
											數量
											金額
											合計
											數量
											金額
											合計
											竣工
											合計

第八九 國道二十五號線(長崎)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ工費四十萬圓ヲ以テ昭和八年度時局匡救事業トシテ二十五號國道長崎市中川町ヨリ同市櫻馬場町ニ至ル延長六百七十八米ヲ改良スルノ計畫ナリシモ工事施行中途ニシテ工費ニ剩餘ヲ生ズル見込トナリシ爲メ起點ヨリ本河内町日見隧道西口ニ至ル延長二千七百十五米間ノ縣營改築濟ナル砂利道中央部幅員六米ノ鋪裝工事ヲ追加シ全延長ヲ三千三百九十三米トセリ然ルニ尙約三萬圓ノ剩餘ヲ生ズル見込トナリシヲ以テ更ニ西彼杵郡日見村大字河内日見隧道東口ヨリ同郡同村大字宿迄延長一千八百五十一米三ノ縣營改築濟ナル砂利道中央部幅員六米ノ鋪裝工事ヲ追加シ總延長ヲ五千二百四十四米三トセリ而シテ當初改良區域タル中川町ヨリ櫻馬場町ニ至ル延長六百七十八米間ハ幅員十六米ニ改良工事ヲ施行スル計畫ナリシモ長崎縣ハ此幅員ヲ更ニ六米擴張シ總幅員ヲ二十二米ニ爲ス企畫ヲ樹テ其工行ヲ當所ニ委託シ來レルヲ以テ併セテ施行スルモノニシテ昭和八年七月六日之ガ工事ニ着手シ爾來銳意事施進工ニ努メタルモ遂ニ四十%ノ未竣功トナリタルヲ以テ之ヲ翌九年度ニ繰越シ施行セルモノナリ

計畫大要

本工事施行區間ニ於ケル當初計畫延長六百七十八米ニ關聯セル在來國道ハ二號國道ヨリ分岐シ佐賀市

ヲ經テ長崎市ニ通ズル重要幹線ノ一部ニシテ長崎市内ノ樞要街路ニ該當シ交通頻繁ヲ極ムルモ在來ノ五米乃至七米ノ幅員ニテハ交通上ノ危險尠ナカラズ之ガ改良ハ數年來ノ懸案ナリキ而シテ計畫中心線ノ決定ニ當リ市街地櫻馬場町附近ハ沿線ニ商家連檐シ長崎市東北部ニ於ケル唯一ノ商業街ニシテ在來道路ヲ擴張スル時ハ用地費、移轉費、營業補償費等ニ多額ノ費用ヲ要スルニ依リ改築新路線トシテ在來道路ノ南側ニ並行路線ヲ選定シ以テ主トシテ住宅地ヲ通過シ用地物件移轉等ノ費用及工事ノ施行ヲ容易ナラシメ且舊國道ト新國道トヲ併用スルヲ得シムルコトトセリ但シ中川町附近ニ於テハ格別右ノ如キ變更ノ必要ヲ認メザルニ依リ在來道路ヲ利用シ又追加施行ノ區域ハ既ニ縣ニ於テ改築セシ部分ナルニ依リ單ニ路面ノミノ鋪裝ヲ爲スモノトス其計畫ノ大要ヲ示セバ左ノ如シ

- 一、 總延長 五千二百四十四米三ノ内道路五千二百六米八、橋梁三十七米五トス
- 二、 有効幅員 二十二米ノ延長六百七十八米ニシテ七米五延長四千五百六十六米三トス
- 三、 路面構造 有効幅員二十二米ノ區間（延長六百七十八米）ハ軌道五米五（中央）車道九米五（軌道ノ兩側四米七五宛）基礎セメント混凝土上層トベカ式瀝青鋪裝步道七米（車道ノ兩側三米五宛）混凝土塊鋪裝トシ有効幅員七米五ノ區間（歩車道ノ區分ナシ）延長四千五百六十六米三ハ橫斷勾配二十分ノ一ヨリ急ナル箇所ニ在リテハ中央部（幅員六米）小鋪石鋪裝、兩側（幅員各七十五糎宛）砂利敷トシ橫斷勾配二十分ノ一ヨリ緩ナル箇所ニ在リテハ中央部（幅員六米）トベカ式瀝青鋪裝、兩側（幅員各七十五糎宛）砂利敷トス
- 四、 排水設備 幅員二十二米ノ區間ニ於テ歩車道ノ雨水ハ凡テL型側溝ニ依リ雨水柵ニ集水シL型側溝下ニ設ケタル下水管渠ニ依リ在來水路ニ放流シ又必要ナル箇所ニハ地先側溝又ハ汚水柵ヲ作り下水管渠及其他ニ依リ排水ス

- 五、縱斷勾配 最急十八分の一、此延長二百八十米(鋪裝ノミノ區間)最急二十五分の一、此延長七十五米(幅員二十二米ノ區間)トス
- 六、最小屈曲半徑 十米(鋪裝ノミノ區間)約四百米(幅員二十二米ノ區間)トス
- 七、擁壁 鐵筋混凝土、混凝土及石積擁壁ヲ施工ス
- 八、橋梁 二箇所合計延長三十七米五、鐵筋混凝土無鉸拱橋
- 九、雜 水路附換ノ必要ヲ生ジタル箇所ハ之ヲ施工シ又在來道路ガ新國道ニ交叉スル箇所ハ必要ニ應
- ジ交通ニ支障ナキ様取付ケ且危險箇所ニハ駒止柵ヲ施行セリ
- 十、使用勞働者豫定延人數 五萬六千人

施工狀況

準備 昭和八年五月長崎市新中川町所在市立商業學校舊校舍ノ一部ヲ借受ケ設置セル長崎國道改良事務所ヲ其儘引繼ギ使用シ諸般ノ設備モ亦既設ノ儘トシテ繰越工事ヲ施行セリ

土工 前年度ヨリ約十%ヲ繰越シタルモ橋梁工事ノ進捗ニ伴ヒ九月二日竣功セリ

擁壁工 約二十%ヲ繰越シタルモ土工ノ進捗ト共ニ進工ニ努メ九月三日竣功セリ

溝橋工 前年度ニ於テハ橋梁工事附近ノ暗渠ハ同工事施行ノ關係上約二十%繰越シノ止ム無キニ至レルモ四月以來同工事ノ進捗ニ伴ヒ極力之ガ進工ヲ計リ八月二十三日竣功セリ

側溝工 前年度ヨリ約三十三%ヲ繰越シタルモ四月以來移轉物件ノ完了並暗渠ノ進捗ニ伴ヒL型及地先側溝ヲ施行シ九月二十七日竣功セリ

路面工 前年度ヨリ約六十%ヲ繰越シタルモ四月以來幅員二十二米區間ノ各種構造物ノ進工ニ全力ヲ注ギ鋪裝ノ促進ヲ計リ路盤土工ノ進工ト共ニ基礎混凝土ヲ施セリ表層瀝青鋪裝ハ大倉土木株式會社ノ請負ニシテ基礎完了部分ヨリ逐次施工セシメ十月二十日完成シ亦歩道鋪裝ニ在リテモ路盤土工ノ進工ニ伴ヒ之ガ進工ニ努メ十月四日完了セリ起點中川町ヨリ櫻馬場町間ニ於ケル延長二百八十米ノ小鋪石鋪裝モ前年度ニ於ケル路盤土工完了部分ヨリ逐次鋪設ニ着手シ銳意進工ニ努メ七月八日竣功セリ亦前記大倉土木株式會社ノ請負ニ係ル瀝青鋪裝ハ其大部分ヲ繰越シタルモ十月二十日竣功セリ

橋梁工 一之橋ハ前年度ニ大體下部工事ヲ完了シタルモ上部ハ殆ド繰越トナリ中之橋モ橋臺ヲ完成シタルニ過ギズ其大半ハ繰越ノ止ム無キニ至リ全力ヲ橋梁ニ傾注シ進工ニ努力セシ結果一之橋ハ十月三十日、中之橋ハ十一月二日竣功セリ

雜工 前記各工事ノ進捗ニ從ヒ水路付替、道路取付ヲ施行シ十一月三十日竣功セリ

本工事ニ使用セル材料ハ總テ國産品ニシテ其額ハ前年度ニ於テ五萬二千八百七十九圓、本年度ニ於テ六萬三千七百九十五圓、計十一萬六千六百七十四圓ナリ又使用勞働者延人數ハ前年度ニ於テ三萬六千十八人、本年度ニ於テ二萬六千三百五十四人、計六萬二千三百七十二人ナリ其內譯ハ左表ノ如シ

種別	昭和八年度		昭和九年度		合計		一人當り平均賃金
	延人員	勞力費	延人員	勞力費	延人員	勞力費	
不熟練工	11,741人	111,446圓	12,113人	118,411圓	23,854人	229,857圓	9圓60分
熟練工	7,777人	111,446圓	8,113人	118,411圓	15,890人	229,857圓	14圓50分
其他	5,268人	101,446圓	11,202人	118,411圓	16,470人	219,857圓	13圓20分

第九〇 國道三十二號線(廣島)改良工事

八年度時局匡救

緒言

本工事ハ昭和七年度ヨリ引續キ施行ノ廣島、吳兩市ヲ聯絡セントスル三十二號國道改良工事ノ一部ニシテ昭和八年度時局匡救事業總工費五十萬圓ナルモ年度内ニ竣功ニ至ラズ九年度ニ繰越施行セルモノニシテ其區域ハ昭和七年度終點矢野町字小島ヨリ坂村字坂見地先間ト昭和八年度ヨリ新ニ工事ヲ開始シタル吳市吉浦町字立花ヨリ字狩留賀ニ至ル區間ナリ本路線ハ産業及軍事上重要ナル道路ナルモ現國道ハ山間部ヲ通過シ幅員極メテ狹小、勾配屈曲モ亦急ニシテ車馬ノ通行至難ノ箇所アリ僅ニ國道ノ名ヲ存スルニ過ギザル現況ニ在ルヲ以テ新ニ海岸線ヲ選定シ緊急之ガ改良ヲ爲サントスルモノナリ

計畫大要

一、矢野町及坂村地内

本工事區間ハ殆ド盛土ニシテ全路線ノ約二分ノ一ハ海面ノ埋立ヲ爲ス全土量四萬九千二十八立方米ノ内一萬六千六百六十一立方米ハ切取並床掘利用土ニシテ不足土量三萬二千八百六十七立方米ハ附近ノ適當ナル民有地ヨリ掘鑿運搬スルモノトス延長一千八百二十米(内橋梁十八米六)ニシテ步車道ノ區別ヲ設ケズ有効幅員九米(全幅員十米)最小屈曲半徑百二十米、最急縱斷勾配二百分ノ一、橫斷勾配ハ中央六米二・五%兩側五%トシ路面ノ構造ハ中央六米ニ基礎混凝土厚十五糎、表裝厚一糎ノ瀝青乳劑トシ兩側ハ地均シ

ノ上人力輾壓ヲ爲ス

排水設備ハ人家連檐箇所、波止擁壁部分通稱牛ノ首山切取箇所ニ内幅三十糎角ノ混凝土側溝ヲ設ケ必要ニ應ジ深サ二十糎トシ厚十糎ノ蓋ヲ施ス溝渠ハ流積ニ應ジ内徑九十糎以上ハ鐵筋混凝土函渠六十糎ハ鐵筋混凝土管四十五糎以下ハ本燒土管トス

海面埋立箇所ノ前面ニハ高サ三米五、法勾配五分ノ練石積ヲ施シ其上ニ高一米五ノ波止混凝土壁ヲ設ク橋梁ハ二橋ニシテ矢野西川ニ架設ノモノハ延長十一米、有効幅員九米、細越川口海面埋立箇所ニ架設ノモノハ延長七米六、有効幅員十米ニシテ何レモ橋臺ハ玉石混凝土重力式トシ橋體ハ鐵筋混凝土T型單桁橋面ハ膠石鋪裝トセリ

而シテ本工事區間ハ當初ニ於テハ昭和七年度終點ヨリ矢野町字小田間延長一千二百七十米ナリシモ工事極メテ順調ニ進捗シ材料費モ豫想外安價トナリタルト用地費ニ多額ノ殘額ヲ生ジタル等ノ爲メ當初計畫點ヨリ百十米ヲ隔テテ延長五百五十米ノ追加工事ヲモ施行セルモノニシテ百十米ヲ隔テタルハ該區間ハ通稱牛ノ首山ト稱セラレ路線敷ニ相當スル部分ハ其中腹ニ當リ切取運搬等工事至難ナルノミナラズ元來後年度ニ於テ路床所要土トシテ該牛ノ首山全土ノ切取ヲ要スルヲ以テ山麓ヨリ順次切取ヲ爲シ施行ノ容易ト工費ノ低廉ナル方法ニ依ランガ爲メナリ

二、吉浦町地内

本工事ハ吳市吉浦町通稱猪山ヲ貫ク隧道工事ヲ施行シ隧道ヨリ生ズル屑土一萬六千五百七十五立方米並前後切取箇所ノ利用土四萬五百五立方米ヲ以テ隧道取付道路工事ヲ爲シ殘土ヲ以テ道路敷外約二十米狩留賀海面ヲ埋立シ尙殘土一萬九百八十七立方米ハ後年度路床工事ニ利用ノ見込ニテ海面埋立箇所

ニ蓄積ス延長九百六十米(内隧道二百五十五米)ニシテ歩車道ノ區別ハ隧道内ノミ車道六米八、歩道兩側各一米五トシ有効幅員ハ隧道内九米八、其他ハ九米(全幅十米)ニシテ最小屈曲半徑ハ百五十米、最急縱斷勾配八百三十分ノ一トス

路面ノ構造ハ隧道内ヲ横斷勾配車道二・五%歩道三・三%トシ共ニ膠石鋪裝ヲ爲シ其他ハ横斷勾配四%トシ地均シノ上單ニ輾壓ニ止メ後年度ニ於テ鋪裝セントス

排水設備ハ隧道内ヨリ生ズル湧水ト路面雨水トニハ路肩ニ混凝土側溝ヲ設ケ隧道口附近山上ヨリノ排水ハ隧道口附近ニ函渠ヲ施シ尙必要ノ箇所ハ溝橋又ハ鐵筋混凝土管ヲ以テ附近ノ水路ニ導流ス

隧道ハ施工箇所大體花崗軟岩ノ見込ナルヲ以テ隧道斷面ハ車道及歩道上ノ規定ノ頭空四米五及二米五ヲ有スル様幅員九米八、高五米五ノ五中心ノ扁平ナル經濟的型體トス拱ハ一、二、四配合ノ混凝土塊ヲ卷キ其裏ハ一、三、六配合ノ混凝土ヲ以テ裏埋スルモノトス側壁ハ岩盤迄一、二、四配合ノ混凝土場所打トス

施工狀況

一、矢野町及坂村地内

本工事ハ前年度終點矢野西川右岸ヨリ矢野西川橋ヲ架設シ水田部ニ出デ鐵道ト約十米ヲ隔テテ略並行シ人家連檐箇所ヲ經テ矢野港ニ出デ纜ニ其一部ヲ埋立シ更ニ水田部ニ盛土シ次デ細越海面ヲ埋立シ細越川口埋立箇所ハ細越川橋ヲ架シ牛ノ首山ニ至リ此處ニテ百二十米ノ屈曲ヲ以テ迂廻シ(此間前述ノ理由ニ依リ百米ノ區間ヲ後年度ニ讓ル)鐵道ト約五米ヲ隔テテ之ニ沿ヒ約四百五十米ノ海面ヲ埋立シ其中途ニ終ル

路床工事ハ延長一千八百一米四、全幅員十米ニシテ約九百米ハ海面約六百米ハ水田部約三百米ハ宅地及牛ノ首山切取部分トス

海面埋立箇所ハ擁壁工事ニテ其前面ニ高三米五、法長三米八、法勾配五分ノ裏込混凝土練石積ヲ施シ其上部ニ高一米五ノ波止混凝土壁ヲ設ケ尙必要ノ箇所ニ階段ヲ設置セリ

鐵道側ハ其擁壁際ノ高一米二ニ埋立テ大體十%ノ勾配ヲ以テ路肩ニ取付ク水田部ハ路裾ニ用惡水路ヲ設ケ土留石積ヲ爲シ法面ヲ筋芝付トス盛土量五萬四百六十九立方米ノ内切取及床掘利用土一萬六千二百立方米（床掘利用土七百二十四立方米）ノ不足土量三萬四千二百六十九立方米ハ五千百三十立方米ヲ矢野町字宮脇ヨリ、二萬九千三百三十九立方米ヲ牛ノ首山ノ何レモ民有地ヨリ掘鑿運搬シ一萬一千九百七十六立方米ハ人力ニ、三萬七千七百六十九立方米ハ六米噸瓦斯倫機關車ニ依レリ

溝渠工事ハ用惡水路接續ノ爲メ延長三百六十一米五ノ内溝橋八十米三五、樋管二百八十一米一五ヲ夫々流積ニ應ジ計畫ノ如ク設置シ海面埋立箇所鐵道側ニ七箇所ノ集水榭ヲ設ケ排水ニ備ヘタリ

側溝工事ハ宅地及牛ノ首山切取部分ニ設ケタルモノニシテ延長A型六十三米、C型（蓋付）三十四米ナリ尙境界混凝土七百一米ヲモ本工事ニテ施行セリ

路面及橋梁工事ハ何レモ計畫ノ如ク實施シ舊道及間道トノ取付道路二十箇所ヲ設ク（内二箇所ハ路床工事ニテ施行）

而シテ昭和八年六月一日着工以來銳意工事ノ進捗ヲ計リタルモ追加區間ノ一部分ハ翌年度ニ繰越サレ六月末日ニ竣功シ同區間ノ路面鋪裝工事ハ昭和九年十月十六日起工、同年十二月二十四日ニ竣功全ク本工事ノ完成ヲ遂ゲタリ其年度別竣功額別表ノ如シ

二、吉浦町地内

本工事ハ吳市吉浦町字立花ノ鐵道山側ヲ起點トシ人家接續箇所ヲ鐵道ニ略々併行シ通稱猪山ヲ切取及隧道ヲ以テ貫キ鐵道第四輕賀隧道トハ其上部ニテ交叉シ狩留賀ニ出デ鐵道ノ海側ヲ埋立シ約十米ヲ隔テテ之ニ沿ヒ鐵道第三輕賀隧道南門口附近ニ終ル

最小屈曲半徑ハ隧道南門口附近百五十米、同北門口附近百八十米、最急縱斷勾配ハ三十分ノ一ニシテ其區間ハ隧道北門口ヨリ二百五十五米ナリ、隧道南門口ヨリ起點マデ二百七米ハ三十七分ノ一ノ勾配トセリ、路床工事ハ延長六百七十二米、全幅員十米ニシテ海面埋立箇所約二百米、隧道口切取箇所百八十米、其他ハ宅地部分ノ盛土トス而シテ宅地部分盛土箇所ハ法面ニ隧道ヨリ生ズル雜割石ヲ張り法裾ハ割石積トス、盛土量四萬八千二百七十七立方米ノ内一萬六千五百七十四立方米ハ隧道層土三萬一千六百四十三立方米ハ隧道口前後切取土量ニシテ電動鑿岩機及人力掘鑿ニ依リ人力運搬ス尙南門口切取土ノ一部ハ工事ノ進捗上不止得附近海軍用地ニ投棄スル等相當工事ノ進捗ニ留意セシモ隧道南門口ハ強靱ナル花崗岩ニシテ人家及鷄舎ニ近ク且列車ノ關係モアリ爆破意ノ如クナラズ功程歩々シカラズシテ六十二%ノ功程ヲ以テ本年度ニ於テ施行セリ

路面工事ハ自然沈下ノ爲メ輾壓ノ要ヲ認メズ昭和十年三月地均シニ止メタル外隧道南門口入口延長三十四米ハ鐵道上部補強工事施行ノ爲メ基礎厚四十五糎以上表裝厚一糎ノ瀝青乳劑塗裝ヲ爲シタリ、溝渠工事ハ延長百一十一米六ノ内溝橋五十米六、樋管六十一米ノ排水設備ニシテ適當ノ流積ヲ有スル鐵筋混凝土函渠或ハ鐵筋混凝土管ヲ布設セルモ隧道北門口附近ノ溝渠(延長十二米)及起點附近ノ鐵筋混凝土管(延長十二米)ハ昭和九年度ニ繰越施行ス

側溝工事ハ隧道前後ノ勾配部分ノ排水ノ爲メ設クル延長三百三十四米ノ混凝土側溝ニシテ昭和九年度ニ於テ施行セリ

取付道路工事ハ十四箇所ノ内十一箇所ヲ八年度ニ三箇所ハ盛土十一箇所ハ石積ヲ以テ施行セリ尙隧道南門口附近ニ於テ厚四十五糎以上ノ鐵骨及鐵筋混凝土平版ヲ施シ鐵道上部地盤ノ補強ヲ爲シタリ隧道工事ハ延長二百五十五米ナリシモ出入口山裾勾配及土砂中ニ介在セル不良岩質等ヲ考慮シ北門へ二十米、南門へ十三米、計三十三米ヲ延長シ二百八十八米トセリ將來坑門口ノ維持上ニモ適策ト思考セル爲ナリ

工法ハ大體計畫ニ依リタルモ拱ノ混凝土塊ヲ場所打ニ路面ノ鋪裝ヲ混凝土ニ變更スルト共ニ照明裝置及隧道内南門口附近ニ前述ト同様ノ鐵道隧道上部補強ヲ施行セリ而シテ掘鑿ノ電動鑿岩機又ハ人力ニ依リ先ヅ北門口底導坑ヨリ着手晝夜二交替作業ヲ爲シ次デ南門口頂導坑ニモ着手昭和八年十二月十五日導坑貫通シ其所要日數ハ九十九日ナリ切擴ハ順次導坑ニ並行シ其十%ノミ九年度ニ施行セリ從而拱卷立百八十八米、側壁百六十八米及路面鋪裝、坑門、鐵道隧道上部補強、照明裝置及土留擁壁ハ何レモ九年度ニ於テ施行セシモノナリ尙土留擁壁ハ隧道ヨリ生ズル屑土及隧道前後切取土ヲ以テ路床敷外約十七米狩留賀海面ヲ埋立シ其前面ニ高五米、法長八米三、法勾配約一割五分、延長二百三十八米ノ裏込混凝土練石積（上部ハ波止胴込混凝土練石積）ヲ設ケ土砂ノ流失ヲ防止スルモノナリ而シテ本區間ハ要塞地帶、官有保安林、海水浴場、鐵道トノ關係等ノ爲メ本格的ニ工事ニ着手セシハ昭和八年九月下旬ニシテ且當初ノ軟岩ノ豫想ヲ裏切り稀ニ見ル堅硬花崗岩ニシテ掘鑿至難ナリシガ故ニ昭和八年度ニ於テハ其功程五十五%ニシテ殘餘ハ本年度ニ繰越シ施行スルノ止ナキニ至レリ其年度別竣功左表ノ如シ

第九一 國道三十二號線(廣島)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和七年度ヨリ引續キ施行ノ廣島、吳兩市ヲ聯絡セントスル三十二號國道改良工事ノ一部ニシテ時局匡救事業トシテ總工費三十萬圓ヲ以テ施行スルモノニシテ其區間ハ二箇所ニシテ坂側ハ前年度終點安藝郡坂村字板見地先ヨリ同村字植田ニ至リ昭和八年度ヨリ新ニ工事開始セラレタル吳市側ハ吳市吉浦町字狩留賀地内ナリ而シテ本路線ハ産業及軍事上重要ナル道路ナルモ現國道ハ山間部ヲ通過シ幅員極メテ狹小、勾配屈曲モ亦急ニシテ車馬ノ通行至難ノ箇所サヘアリ僅ニ國道ノ名ヲ存スルニ過ギザル現況ニ在ルヲ以テ新ニ海岸線ヲ選定シ緊急之ガ改良ヲ爲サントスルモノナリ

計畫大要

一、坂村地内

本工事區間ハ殆ド盛土ニシテ約五百米ハ海面、約四百米ハ宅地部分其他ハ水田部ニシテ其土量五萬七千立方米ハ前年度ニ引續キ通稱、半ノ首山ヨリ人力掘鑿ノ上六米噸瓦斯倫機關車ヲ以テ運搬スルモノトス。海面埋立箇所ノ内字板見海岸ニハ法長三米八、字植田海岸ニハ法長三米九、各高三米五、法勾配五分ノ裏込混凝土練石積ヲ施シ其上ニ高一米五ノ波止混凝土壁ヲ設ケ海底岩盤部分ヲ除キ捨石ヲ爲シ洗去ヲ防グ延長ハ一千六百四十三米四七(内橋梁二十四米)有効幅員九米(全幅員十米)ニシテ屈曲最小半徑ハ二百米、最

急縱斷勾配ハ百分ノ一トシ路面ハ橫斷勾配四%ニ地均シノ上、輾壓シ拋物線ニ仕上グルモノトシ鋪裝ハ其自然沈下ヲ待チテ後年度施行ノ豫定ナリ

排水設備トシテハ其地形ニ應ジ路面排水ハA・C型ノ混凝土側溝ヲ設ケ各水路ニハ陶管ヒユーム管、鐵筋混凝土函渠並版桁橋ヲ以テシ集水樹ヲ必要ノ箇所ニ設置ス

本區間ニ架設スル橋梁ハ二橋ニシテ内高尾川ノ河口附近海中ニ架スル高尾橋ハ延長十米七、橋臺ハ玉石混凝土重力式表面ヲ花崗岩張トシ總頭川ニ設タル總頭橋ハ延長十三米三、橋臺ハ玉石混凝土重力式ニテ二橋共橋體ハ鐵筋混凝土丁型單桁橋面ハ一・一五三配合ノ混凝土鋪裝トス

而シテ元計畫ニ於ケル鐵道吳線坂驛附近ニ東亞木材防腐株式會社第一工場鐵道専用側線アリ之ト平面交叉スルヲ以テ鐵道當局ニ承認方協議セシモ専用側線ナル故ヲ以テ會社ノ承諾書提出方要求アリ然ルニ會社ニ於テハ鐵道側線沿ヒ工場敷地ノ收用及専用側線ノ平面交叉ハ工場トシテ必要條件ヲ奪取セララル結果收支相償ハザル状態ニ陥ルヲ以テ高架道ニ依ル能ハザレバ海面ヲ埋立シ専用側線ヲ延長セザルニ於テハ事業ノ經營至難ナリトシ無條件承諾セザルヲ以テ年度内竣功ハ勿論着工サヘ懸念セララルガ故ニ該區間ヲ後年度ニ讓リ其工費ヲ以テ坂村字岡ヨリ同村字植田迄ノ區間ヲ延長セルモノナリ

二、吉浦町地内

本區間ハ前年度終點鐵道第三輕賀隧道南門口附近ヨリ鐵道ノ海側ニ並行シ鐵道第一輕賀隧道北門口附近ニ至ルモノニシテ海岸突出箇所三箇所ノ内、二箇所ハ切取り、終點一箇所ハ隧道トシ其他ハ殆ド海面ノ埋立ナリ而シテ切取り土四萬四千立方米及前年度剩餘土一千立方米、合計四萬五千立方米ニテ路床ヲ築造シ其殘土ヲ以テ道路敷外約三米ノ海面ヲ埋立ス尙隧道ヨリ生ズル層土三千三百三十八立方米及隧道北

門口附近切取土五千立方米ハ其以北ノ海面後年度豫定路線敷内ニ投棄ス

海面埋立箇所ノ前面ニハ高四米四、法長五米七七、法勾配一割ノ胴込混泥土石積ヲ施シ其上ニ高六十糎ノ波止混泥土壁ヲ設ク

延長八百三米(内隧道五十八米)有効幅員ハ隧道内九米八、其他ハ九米(全幅員十米)ニシテ屈曲半径ハ最小百五十米、最大三百米トス

路面ノ構造ハ隧道内ハ横斷勾配車道二・五%、歩道三・三%トシ、歩車道共混泥土(厚十糎)配合一・一・五・三、鋪裝ヲ爲シ其他ハ横斷勾配四%ニテ地均ノ上輾壓シ其自然沈下ヲ待チテ後年度鋪裝セントス

排水設備ハ隧道内ヨリ生ズル湧水ト切取箇所ノ雨水トニ對シテハ路肩ニ混泥土側溝ヲ設ケ必要ノ箇所ニ溝橋及集水柵ヲ施ス

縱斷勾配ハ最急百分ノ一ニシテ其延長七十米、最緩勾配ハ八百分ノ一トセリ

隧道ハ大體花崗岩ノ見込ナルヲ以テ隧道斷面ハ車歩及歩道上ノ規定ノ頭空四米五及二米五ヲ存スル様幅員九米八、高五米五、中心ノ扁平ナル經濟的形態トス、拱卷ハ五十糎厚トシ、側壁ハ三十糎、配合ハ共ニ一・二・二、四裏込ハ配合一・三・六ノ場所打混泥土トス

施工狀況

一、坂村地内

前年度終點字板見海面埋立箇所ヨリ鐵道ニ沿ヒ或ハ略之ト並行シ海面百四十二米五ヲ埋立シ高尾川口海面埋立箇所ニ高尾橋ヲ架シ水田部ニ出デ約三百六十米ノ盛土ヲ爲シ總頭川ニ至リ總頭橋ヲ設ケ更ニ

水田部ニ盛土シ測點四十四號附近即チ吳線坂驛裏附近ヨリ約三百八十一米ハ計畫ノ大要ニ記載ノ如ク後年度ニ譲リ測點四十八號附近ヨリ約九十米ハ水田部ニシテ宅地部分ニ出デ約三百三十米ヲ大部分盛土小部分切取ヲ爲シ字岡ノ當初計畫終點ヨリ更ニ海面ヲ埋立シ字植田ノ陸地ニ接續セシムルモノナリ」路床工事ハ延長一千六百十九米四七ニシテ盛土量五萬七千三百三十三立方米ハ通稱牛ノ首山ノ切取土四萬六千二百四十立方米及宅地部分切取土九百五十一立方米ヲ利用シ不足土量九千九百四十二立方米ハ牛ノ首山ノ民有地ヨリ買收シ人力掘鑿ノ上六米噸瓦斯倫機關車運搬ニ依リタルモ最大距離二千三百米ニ及ビ且中止部分ニ二十五分ノ一強ノ急勾配アリ運搬費ニ多額ヲ要セシノミナラズ土取場ハ堅硬ナル岩石多ク火藥ヲ使用シ切崩ヲ行ヒ更ニ石工ニ依リ之ヲ碎キ積込ヲ爲セル爲メ掘鑿積込共意外ノ費用ヲ要セリ尙水田部ハ路裾ニ用惡水路ヲ設ケ土留石積工事ヲ施シ筋芝付ヲ以テ路肩ニ取付ク擁壁工事ハ海面埋立箇所ノ前面ニ施行スル波止擁壁工事及路床ノ七留石積工事ニシテ板見海岸波止擁壁工事ハ延長百四十二米五ヲ計畫ノ通り施行スルノ外高尾橋附近ニ迂雁木一箇所ヲ設ケタリ植田海岸波止擁壁ハ延長三百六十七米ニシテ計畫通りトシ必要ノ箇所ニ階段一箇所ヲ設クルモノトス土留擁壁ハ練石積、空石積或ハ裏込混泥土直石積ヲ以テシ其面積ハ二千七百六十五平方米ニシテ年度内練石積二百二十五平方米、空石積二千二百七十八平方米、直石積百二十五平方米ノ竣功ヲ見タリ溝渠工事ハ在來水路ノ接續ノ爲メ設クルモノニシテ延長ハ四百六十九米何レモ計畫ノ如ク施行スルコトトシ樋管三百八米九、溝橋六十米ハ年度内竣功セリ尙鐵道樋管トノ接續點及必要ノ箇所ニ集水榭ヲ設ケ前者ハ排水ト樋管ノ掃除ヲ兼ネ後者ハ排水ニ備ヘ九箇所ノ内六箇所竣功ス側溝工事ハ宅地部分ノ路面排水ノ爲ニ設クルモノニシテ總延長九百七米ノ内A型六百米、C型（蓋付）十四

米ヲ竣功シ尙板見海面埋立箇所ニ延長百二十九米ノ境界混凝土ヲ設ケタリ

橋梁工事ハ計畫ノ通り實施シ雜工事トシテ鐵道法尻水路及路線敷内水路ノ位置變更又ハ縮少スル爲ニスル空石積延長九十一米ノ附替水路工事及取付道路工事三十八箇所ノ内二十九箇所ヲ施行セリ而シテ計畫變更ニ依ル追加工事區間延長約二百五十米ト家屋移轉未了ノ宅地ノ僅少部分及路面工事ハ翌年度ニ施行スルコトナレリ其竣功額別表ノ如シ

二、吉浦町地内

本工事ハ計畫記載ノ如ク前年度終點ヨリ鐵道第三輕賀隧道附近山鼻ヲ凹字型ニ切取り鐵道第二輕賀隧道附近山鼻ハL字型ニ切取り鐵道第一輕賀隧道附近山鼻ハ隧道ヲ以テ貫キ其土量ヲ以テ海面ノ埋立ヲ爲スモノナリ

路床工事ハ延長七百四十五米ニシテ盛土量四萬四千二百立方米ハ全部前述ノ如ク切取土ヲ利用スルモノナルモ切取箇所ハ表面ノミ花崗岩腐蝕土ヲ被覆シ内部ハ強靱ナル岩質ニシテ而モ間々塊狀花崗岩介在シ且列車ノ通過竝航行ノ舟船ニ顧慮ヲ要シ爆破意ノ如クナラズ掘鑿至難ヲ極メタリ然レ共年度内第二輕賀隧道部分ハ終了シ第三輕賀隧道部分ハ兩側ヨリ切取リツツアリ其功程半ヲ過グ盛土法面ハ雜割石張ヲ以テ保護シ海面埋立箇所ハ路床敷トシテ路肩ヨリ約三米ノ餘地ヲ埋立シ其前面ニ下記ノ波止擁壁工事ヲ施ス

擁壁工事ハ土留及波止擁壁ノ二工事ニシテ土留擁壁ハ起點附近盛土法裾ニ空石積ヲ鐵道トノ溝渠接續箇所及隧道南門口ニ練石積ヲ施スモノニシテ盛土及溝橋ノ進捗ニ伴ヒ漸次施行シ起點附近ノ小部分ト隧道南門口附近トヲ殘セリ波止擁壁ハ海面埋立箇所ノ前面ニ高四米四法長約五米ニ法勾配七分ノ胴込

混凝土練石ヲ施シ其上ニ高六十糎ノ波止混凝土壁ヲ設クルモノニシテ十一月中旬ニ着手切取りニテ生ズル雜割石及小割石ヲ所定ノ箇所ニ舟ニテ捨石ヲ爲シ盛土ノ洗流シヲ防止スルト共ニ其沈下ニ依ル基礎ノ完壁ヲ期シ盛土ノ進捗ニ從ヒ干潮時ニ早出殘業ヲ爲シ銳意之ガ進捗ニ努メタルモ波止壁ハ施工ノ運ニ至ラズ石積ノ約四十%ヲ竣功セリ

溝渠工事ハ路床盛土ニ先ンジ鐵道在來ノ排水設備ノ箇所ニ其流積ニ相當スル斷面積ノ溝橋ヲ設置スルモノニシテ胴込混凝土石積橋臺ヲ築造シ之ニ鐵筋混凝土床版ヲ架設底部ニハ張石ヲ爲シ相當ノ勾配ヲ附シ快疏ヲ計リ五箇所ノ内四箇所ノ竣功ヲ見、一箇所ノ一部分及集水樹ヲ殘セリ

隧道工事ハ延長五十八米ニシテ斷面其他工法等計畫ニ依リタルモ隧道層土ハ鐵道第二輕賀隧道附近切取勾配五分ナリシモ硬岩ニテ崩壞ノ虞ナキヲ以テ三分ニ變更シ約五千立方米ノ土量減少ヲ豫想セル爲メ計畫ヲ變更シ路床ニ利用スルコトトシ八月十六日南門口低導坑ヨリ着手セリ當初ハ手鑿ニテ掘鑿ヲ行ヒタルモ九月十五日電力線ノ設置ト共ニ電動鑿岩機ヲ使用シ掘進ヲ倍加シ九月二十八日貫通セリ此間頂導坑切擴ニモ着手シタルニ軟岩ノ爲メ支保工ハ前年度施行ノ吉浦隧道工事ノ古材ニテハ到底荷重ニ堪ヘザルヲ以テ導坑ノ大柱及切擴ノ大立大引ハ徑四十糎内外ノモノヲ使用シ縫地方法ニテ行フノ外ナク意外ニ多額ノ工費ヲ要セリ拱卷立ハ逆卷方法ニ依リ支保工材ハ荷重ノ相當量ニ應ジ出來得ル限り取除キ止ムヲ得ザルモノノミ埋込ミトセリ

側壁ハ短區間(三米六)ニ區切り左右交互ニ拔掘方法ニテ掘鑿シ直ニ混凝土ヲ施工シ切放ニ依リテ生ズル拱部ノ沈下ヲ防止セリ縱斷勾配ハ中央ヨリ兩口ニ向ヒ百分ノ一ノ下リ勾配トシ歩道ノ鋪裝ノミヲ竣功シ車道ハ翌年度ニ繰越サレタリ

次ニ坑門ハ工費ヲ増加セザルヲ以テ鏡混凝土ヲ變更シ表面練石積トシ美觀ト耐久力ヲ増スコトトセル
 モ僅ニ南門口ノ一部分ニ着手セルノミナリ從テ兩門口附近ノ切取ハ大部分翌年度ニ施行スルコトトナ
 レリ

而シテ本區間ハ鐵道用地及其沿線工事施行ニ對スル鐵道當局ノ承認遷延ノ爲メ年度内竣工ニ至ラザル
 モノニシテ竣功表左ノ如シ

總計	雜具	器機	用費	橋梁	工事	本工		費目
						溝渠(側工共)	擁壁	
								前年度迄竣工高
								數量
								金額
								本年度竣工高
								數量
								金額
								合計
								數量
								金額
								竣功
								割合

第九二 國道三十三號線(長崎)改良工事

時局匡救

緒言

本工事ハ昭和九年度時局匡救事業トシテ工費二十萬圓ヲ以テ三十三號國道長崎縣佐世保市下京町ヨリ同市本島町ニ至ル延長三百五十米ヲ改良スルモノナリ

計畫大要

本工事施行區間ニ於ケル在來國道ハ佐世保鎮守府ニ至ル樞要道路ニシテ且佐世保市唯一ノ商業街ナレ共幅員狹隘ニシテ僅ニ八米乃至九米ニ過ギズ而モ步車道ノ區別ナク交通量ハ縣下第一位ニシテ自動車ノ交通ノミニテモ昭和八年六月ニ於テ一日平均一千五百三十九臺、同年十月ニ於テ一日平均一千七百七十七臺ヲ算シ尙漸次増加ノ形勢ニ在リ而シテ之ニ人馬車ノ通行ヲ加フル時ハ推測ニ餘リアル狀態ニシテ之ガ改良ハ多年關係地方民ノ翹望セル處ナリ而シテ計畫中心線ノ決定ニ當リテハ如上ノ商店街ヲ擴築スルニ於テハ用地費、物件移轉費ニ多額ノ費用ヲ要シ不得策ナルヲ以テ在來國道ヨリ約六十米東方ニ之ト並行セル理想的裏街道路ヲ選擇シ擴築スルコトトセリ而シテ長崎縣ニ於テ工費五萬圓ヲ以テ國ノ改良計畫幅員十六米ヲ更ニ四米擴築シ全幅員ヲ二十米ト爲スコトトセリ此擴幅工事ヲ當所ニ委託シ來レルヲ以テ之ヲ國ノ工事ト併セ施行スルコトトセリ本工事設計ノ概要左ノ如シ

一、總延長 三百五十米

- 二、有効幅員 二十米
- 三、路面構造 車道ノ十三米（中央）二層式混凝土鋪裝延長二百九十八米五、碎石道延長五十一米五ニシテ歩道ノ三米五（車道ノ兩側各）ハ混凝土塊鋪裝トス
- 四、排水設備 歩車道ノ雨水ハ凡テL型側溝ニ集メテ雨水柵ニ流入セシメ沿道民家ノ汚水ハ汚水柵ヲ設ケテ之ニ集メ取付管ヲ以テ雨水柵排水管ニ導キ雨水、汚水共ニ排水管ニ依リ在來水路ニ放流ス
- 五、最急縱斷勾配 三十分ノ一
- 六、最小縱斷勾配 八百分ノ一
- 七、雜 必要ナル箇所ニ取付道路ヲ設ケ
- 八、使用勞働者豫定延人數 九千七百七十人

施工狀況

準備 昭和八年四月一日長崎市ニ設置セル長崎國道改良事務所ヲ以テ昭和八年度ヨリノ繰越工事ヲ引續キ施行スルコトトシ同九年五月下旬佐世保市八幡町ニ佐世保國道改良事務所ヲ設置シ諸般ノ設備並監督見張所ノ設置工事ノ進捗上遺漏ナキヲ期シタリ

用地買收及物件移轉 本區間ハ前述ノ如ク人家集密セル商業街ナルガ故ニ用地買收物件移轉ノ成否ハ直接工事施行ニ大ニ影響スルヲ以テ五月下旬改良路線ノ決定ト同時ニ調査ニ着手シ銳意其査定ニ努メ八月二十四日買收並移轉ノ協議ヲ開始シ幾多ノ折衝ヲ重ネタル結果十二月上旬全區域内ノ承諾ヲ得タリ

土工 事業本來ノ性質ニ鑑ミ機械力ヲ廢シテ人力ニ依リ十一月四日着工シ翌十年三月三日竣功セリ
排水工 排水管竝横斷暗渠ハ十一月八日物件移轉ニ支障ナキ箇所ヨリ着手シ本年度内九十一%ノ竣功
ヲ遂ゲL型側溝、雨水榑、汚水榑取付管モ相前後シテ着工シ九年度末迄ニ八十四%ノ進行ヲ示シ以テ上部
鋪裝工事施行ニ支障ナカラシメタリ

路面工 本工ハ本年度工事中ノ主要ナルモノニシテ十月十日着工シ基礎路盤輾壓ニハ十噸マカダム型
輾壓機ヲ混凝土ニハコロリング型可搬式ミキサ一臺ヲ使用シ空氣壓搾機ヲ以テ輾壓セリ而シテ水道
給水管、瓦斯管及電話線等ノ地下布設工事存在シ施行上相當困難ヲ來タシタルモ側溝ノ區間竣功ヲ待チ
逐次施行シ本年度内約三十%ノ竣功ヲ遂ゲタリ

雜工 八月十六日日本年工事ノ諸準備ニ着手シ工事ノ進捗ト共ニ取付道路ヲ施行シ本年度内約六十%ヲ
竣功セリ

其他工事 前年度使用シタル古木材ヲ以テ型枠其他諸材料ニ充當スル爲メ直營ヲ以テ十月六日松板松
角ノ製材工事ヲ起シ二月末日所要材量製作ヲ完成セリ而シテ又混凝土管竝混凝土塊ノ直營製作工事ヲ
モ十月十六日開始シ本年度内九十八%ヲ竣功セリ

二、 使用材料費及勞力費

本工事ニ使用セル材料ハ總テ國産品ニシテ其總額ハ四千六十四圓二十九錢ナリ又使用勞働者延人數ハ
一萬百四十一人ニシテ其勞力費ノ内譯ハ左表ノ如シ

種 別	延 人 員		勞 力 費		平 一 均 人 賃 當 金 リ
	工 工	他 工	円	円	
不 熟 練	六、四四六		七、二六四	一、四〇〇	
熟 練	一、九二八		三、四四一	一、七六〇	
其 他	一、七三七		三、〇一七	一、七二〇	
合 計	一〇、一〇二		一三、七二二	一、三六〇	

三、 勞働者使用ノ狀況

本工事施行ニ當リテハ事業本來ノ主旨ニ鑑ミ萬已ムヲ得ザルモノヲ除クノ外ハ前年度同様機械力ノ使用ヲ廢止シテ人力ニ依リ以テ可及の大多數ノ要救濟者ヲ就勞セシムルノ方針ヲ採リ本年度内ニ於テ使用豫定延人員ヲ遙ニ凌駕スルノ好成绩ヲ舉グルヲ得タリ而シテ是等使用勞働者ハ佐世保市職業紹介所ニ於テ失業登録ヲ受ケタル者及生活困窮者ニシテ勞働手帳ヲ交付セラレタルモノナリ

四、 工事竣功ノ狀況

本工事ハ昭和九年八月着工以來銳意之ガ完成ニ努メタルモ家屋及電柱ノ移轉ニ於テ進捗意ノ如クナラズ爲メニ本工事ニ於テモ遅延ヲ來タシ年度内ニ竣功スルニ至ラズ約八十二%ヲ竣功シテ殘餘ヲ昭和十年度ニ繰越施行スルノ止ムナキニ至レリ今工事竣功表ヲ示セバ左ノ如シ但シ〔○〕ハ長崎縣負擔額〔◎〕ハ使用無代價品評價額ヲ示ス

六、 工事ノ進捗狀況ノ概況

昭和九年度直轄工事年報 (終)

第六章 國道改良工事 (國道三十三號線(長崎)改良工事)

費目	本											總計			
	掘鑿	築堤	路面	溝橋	側溝	混泥土管及塊製作	製雜	費工	土地買收	地上物件移轉	器具機械		其他諸費		
前年度迄竣工高	數量													總計	
	金額														
本年度竣工高	數量	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	總計	1.000
	金額	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00	1,518.00		15,180.00
合計	數量	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	總計	2.000
	金額	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00	3,036.00		30,360.00
竣工高	數量													總計	
	金額														

昭和十一年十月十五日印刷
昭和十一年十月二十日發行

內務省土木局

印刷者 豐田作治郎

東京市葛飾區小菅町一二八四

印刷所 小菅刑務所

東京市葛飾區小菅町一二八四